

ムラ・人・農が織りなすゆがふむら



今帰仁村

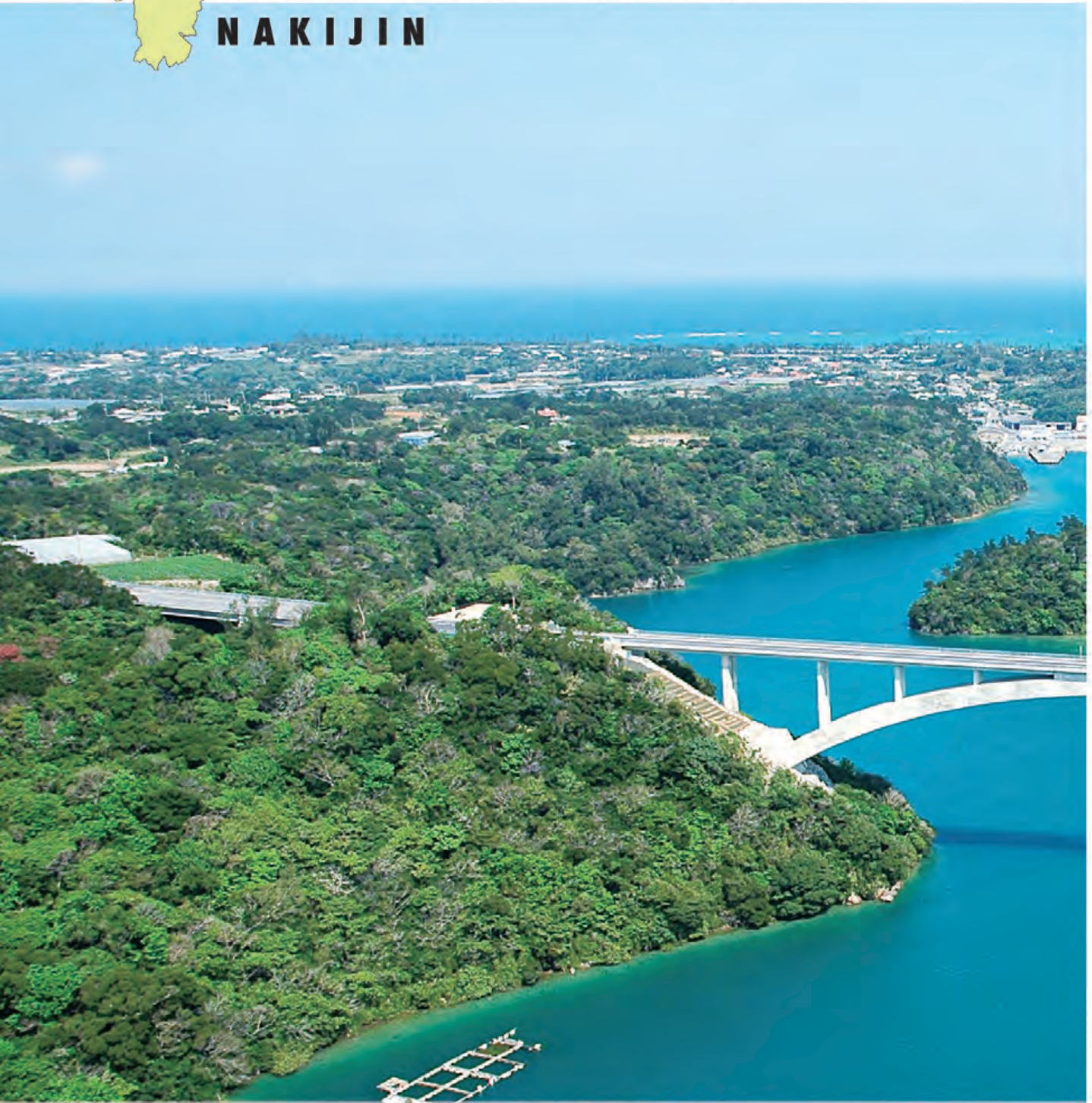
2021年
村勢要覧
(一部改訂版)

<https://www.nakijin.jp/>



ムラ・人・農が織りなす ゆがふむら

NAKIJIN



スイカ出荷



ブドウ狩り



今帰仁まつり



ビーチクリーン



世界のナキジンチュ大会



闘牛大会



マングローブ自然体験学習



老人婦人スポーツ大会



ムラ・人・農が織りなすゆがふむら

NAKIJIN

今帰仁村の概要

[位置]

今帰仁村は、沖縄本島北部、本部半島の北東部(北緯26°40'43"、東経127°58'29")に位置し、那覇市から北へ約85km。東から東南部にかけては名護市、南西部から西は本部町、北は東シナ海に面し北東約1.5kmには古宇利島がある。

[地勢]

村の南側は、乙羽岳(標高約275m)を中心に、山並みがほぼ東西に延びている。その山麓から北および東に向かって緩傾斜地となり、さらに平坦地が広がり、耕作地は集落を中心に広がっている。

村内の河川は、村の中央部を呉我山から仲宗根にかけて通り東シナ海へと注ぐ大井川(二級河川)と今帰仁城跡の東側を流れる志慶真川(普通河川)がある。その他に四本の普通河川があり、いずれも南から北方向へと流れ東シナ海へと注いでいる。

[面積]

本島部 36.76km²、離島部 3.17km²で、
総面積 39.93km²

[歴史]

「今帰仁」は古くはオモロや辞令書では「みやきせん」と記され、また『海東諸国紀』(1471年)には「伊麻寄時利」、近世になって「今帰仁」と表記される。1666年以前は現在の本部町を含む本部半島の大半を占める大規模な間切(今の村)だった。しかし、1665年に第二監守時代の監守一族は首里に引きあげ、今帰仁と伊野波(本部)の二つの間切に分割、ほぼ現在の規模となる。

今帰仁間切の番所(後に役場と改称)は運天港に所在し、大正5年に現在地の仲宗根に移転する。間切には地頭代をはじめ総耕作当や夫地頭、首里大屋子、掟などの役職があり、間切の長は、地頭代、間切長、さらに村長へと改称され現在に至っている。



今帰仁村民憲章

わたしたちは、今帰仁村民としての誇りと責任をもち「自然と歴史とロマンに満ち、躍動する村づくり」のため、この憲章を定め、実践につとめます。

- 一、みんなを守ろう
恵まれた自然と文化遺産を
- 一、みんなのできるよう
うるおいとやすらぎのある村を
- 一、みんなを育てよう
のびゆく力と豊かな心
- 一、みんなのでめぎそう
健康で希望に満ちた村を
- 一、みんなで築こう
平和で明るい活力のある村を



発刊によせて

農業と観光が連携し、発展するむら

[村章] 1973年11月8日制定
 今帰仁村の題字「今」を現代的に図案化した。村民の主体性と可能性の無限の発展を三角の炎に、平和と充実、共栄を中央円にあらわし、これを守り培う共同体形成を象徴せしめた。なお三角の上下同型は相互の立場、主張が平等に尊重される真の民主主義と郷土愛のための同志的存在を意味する。



今帰仁村長
久田 浩也
 Hironari Kuda

今帰仁村は沖縄本島北部、「やんばる」と呼ばれる、緑豊かな山々が広がる癒しの空間にあって、悠久の歴史や文化など先人の残した景観が色濃く残る村です。この豊かな資源を生かし、これまで村民本位の行政に努めてまいりました。

本村は豊かな自然環境を生かした農業立村であります。多種多様な農畜産物を生かし、世界遺産今帰仁城跡や風光明媚な古宇利大橋、ワルミ大橋など、農業と観光資源とを融合させた村づくりに取り組んでいます。特に県から拠点産地の認定を受けたキク・マンゴー・スイカ・紅イモ・黒毛和牛の子牛をはじめ、クワンソウ・エノキダケ・エリンギ・アダー等、特色ある農畜産物を生産しています。

また、世界遺産今帰仁城跡は、遠く奄美大島、沖永良部島、与論島などといった奄美群島を文化圏に取りこんだ、グスク時代の繁栄を象徴する建造物であります。現在はやんばる観光の拠点として海洋博記念公園などと並び、多くの観光客が訪れ賑わいを見せています。

現在「ムラ・人・農が織りなすゆがふむら・今帰仁」を将来像として、平成24年度から平成28年度を「前期基本計画」と位置づけ取り組んできました。

そのような背景の下、前期基本計画で示された進捗状況を確認・評価・検証を行い、本村を取巻く社会情勢の変化や、地域住民の新たなニーズに対応した施策を展開するために、平成29年度から平成33年度の5か年を「後期基本計画」として策定し、村民と行政が手を取り合い誰もが安心して暮らせる村づくりを推進しています。



非核宣言の碑

今帰仁村歌

作詞 平山良明
 作曲 城間繁

一 朝風夕風の 島浦に
 みどり綾なす 乙羽岳
 文化の華は 北山の
 猛きところを うけつぎて
 培ういのち 豊かなり
 いま、島の根に鳴りとよむ
 嘉例吉く今帰仁 わした村

二 世界報真果報の 産土に
 ころ染めたる 村祭り
 老いも若きも 先つ代の
 やさしき習いを うけつぎて
 勤しむわれらの 村興し
 いま、島の根に富み勝る
 嘉例吉く今帰仁 わした村

三 八雲彩雲 湧き立ちて
 高鳴る胸は 清かなり
 珊瑚の海に 伊集の花
 巷に夢を 結びつつ
 そよぐ並松 幾世紀
 いま、島の根に咲けわたる
 嘉例吉く今帰仁 わした村



ムラ・人・農が織りなすゆがふむら

NAKIJIN



今泊の福木並木

CONTENTS

今帰仁村の概要

発刊によせて
農業と観光が連携し、発展するむら

目次 03

今帰仁村 Map(マップ) 04

世界遺産今帰仁城跡 06

古宇利島 08

今帰仁村の農業 10

 畜産業 11

 水産業・林業 12

 商工業 13

 観光 14

 福祉保健・環境衛生 15

 建設・水道 16

 学校教育 17

 社会教育 18

 防災 19

 港湾 20

 行政・議会 21

今帰仁村19集落の紹介 22

資料編 32

今帰仁村のシンボル



むらの花

ハイビスカス

南国を象徴する花として、近年特に普遍性をもってきた。栽培が容易で、通年花をみることができ普及性が高く、情操を豊かならしめる。生垣や庭の花として村民生活に密接に関わっている。



むらの魚

ツノダシ

南国の海で、珊瑚礁に生息し、その姿が美しく、かつ親しみやすい魚である。山、海の環境に敏感な珊瑚礁につくため、この種は今後の本村の開発の在り方に大きな示唆を与えてくれる。



むらの木

リュウキュウマツ

リュウキュウマツは豊かな自然環境と歴史の中で最も象徴的であり、かつ本県下でも現今、古木や並木等がみられる。本村の文化的伝承の課題として、村民挙げて保護育成する必要がある。



むらの鳥

サンコウチョウ

山野自然環境保護の指標として大切にすべきである。形色、名前が美しく親しみやすい。鳴き声を「ツキ、ヒ、ホシ、ホイホイ」と聞きならわされて、村発展の象徴とするにふさわしい。



むらの蝶

フタオチョウ

先島をこえて沖縄島の本部半島に主として生息する。この種の蝶の北限地で、国際的にも、学術的にも稀少価値があり、地元である本村はこれを指定し保護すべき課題として受けとめる必要がある。

今帰仁村Map



ワルミ大橋
2010年12月18日開通



村社会福祉協議会



村民体育館



村歴史文化センター



ウップマビーチ

今帰仁城跡

今帰仁城跡は沖縄本島北部の今帰仁村に位置し、13世紀頃～1416年まで、三山(三つのクニ)鼎立していた時代、北山の拠点になったグスクです。北山の時代には中国と交易した痕跡が発掘された遺物からうかがえます。

World Heritage Nakijin Castle Remains

琉球史に欠かせない北山王の居城

今帰仁グスクは標高100mの所に位置し、中世代石灰岩で幾重に積まれ、「おもろさうし」で「きこえぬ みやきせん もいまり つみ あけて」と謡われています。

1416年に中山の連合軍に滅ぼされると、中山から第一尚氏、第二尚氏系統の監守(今帰仁按司)と三十三君の一人今帰仁アオリヤエの一族が派遣されます。

1609年の薩摩軍の琉球侵攻の時、今帰仁グスクは焼き討ちにあいますが、監守制度は1665年まで続きます。その頃まで今帰仁グスクは北山の政治的、あるいは祭祀の重要な拠点として機能しています。

監守(今帰仁按司)と今帰仁アオリヤエ一族が首里に引き上げると、今帰仁ノロを中心とした祭祀場となります。今帰仁按司が派遣され、居住していた痕跡としてグスク内に監守来歴碑記や今帰仁按司の石燈籠、今帰仁アオリヤエの祭祀の痕跡としてクボウヌウタキでの祭祀、そして今帰仁アオリヤエの居住していたオーレー御殿跡が残っています。

また、今帰仁按司と今帰仁アオリヤエ一族が葬られた運天の大北墓、今帰仁按司三世和賢が葬られている津屋口(別名アカン)墓があります。

そのような歴史を持つ今帰仁グスクは2000年に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして世界遺産に登録されました。



子宝の授かるブツクヌイッピヤの洞窟(ガマ)



今帰仁按司(監守)三世の津屋口墓



今帰仁按司(監守)と今帰仁アオリヤエ一族を葬った運天の大北墓(按司墓)



シニグンニと呼ばれる石積み遺構で、大正時代まで行われていたシニグ祭祀の出発場所とみられます。



今帰仁アオリヤエの
火神の祠



今帰仁アオリヤエの勾玉



今帰仁グスク内の上の御嶽のイベ



クボウヌ御嶽への選拝所である
サカンケー



今帰仁グスク内にある火神と
監守来歴碑記



ハンタ原のウーニ(御舟)で今帰仁ウーニと本部ウーニがあります。海神祭(ウシジャミ)の時に拝まれます。



後方にある伊是名・伊平屋、国頭の安須社への選拝所です。航海安全を祈ります。



運天にある百按司(ムムジャナ)墓で、第一監守の一族が葬られていると言われています。



ハンタ道沿いにあるミーミングスクは、今帰仁グスクの見張場、あるいは出城だったのではないかとみられます。



今帰仁グスクの外郭にある古守利(ファイ)殿内火神はムラの重要な祭礼の時に拝みます。



今帰仁ノロ火神の祠で、今帰仁ノロは周辺のムラや今帰仁グスクなどの祭祀を行います。

人類発祥の伝説が受け継がれてきた神の島

古宇利島

古宇利島は沖縄本島の本部半島の北東部に位置する。半径約1kmの円形をなし、面積は3.13平方km、周囲は約7.9km、最高部の標高は107.4mである。遠方から見ると餅の形をなし、上空から見ると丸い形をした島である。琉球石灰岩からなり、三つの海岸段丘やトケイ浜のポットホール(円筒状の穴)があり、島の成り立ちを考えるのもいい。



トケイ浜のポットホール(円筒状の穴)



古宇利大橋

古宇利島のことをフィジマやクイジマと呼んでいます。フィやクイは「越えた」の語意とみられ、フィジマ、クイジマは海を「越えた島」と訳されます。また、人類発祥の伝説から恋(コイ・クイ)あるいは恋島の字をあてたりすることもあります。

船で海を越えてきた島が、2005年に隣の屋我地島との間に古宇利大橋が開通し、車で行ける離島となり、青く輝く海に囲まれた美しい島の景色を見にたくさんの観光客が訪れる島となっています。





古宇利火立所跡から国頭方面を望む



古宇利ふれあい広場直売所



シラサの岬での神送り(ウンジャミ)



人類発祥の二人が住んだという洞窟

古宇利島には人類発祥の伝説があり、シラサ(浜の名称)にはかつて男女二人が生活していたといわれる洞窟状の岩陰があります。島内には古宇利原遺跡や中原遺跡があり、約3,000年前の生活痕が調査により確認されています。海と関わりの深い年中行事が残る島にあって、サーサーウェーやタキヌウガン、旧盆後最初の亥の日に行われるウンジャミ(海神祭)などの古くからの祀りごとが手厚く引き継がれていることから「神の島」とも呼ばれています。





農業



全国的にもクンソウの活用が注目されている。

新規就農者を支援

本村は農業を基幹産業としてむらづくりを進めています。後継者を育て新規就農者を支援し、6次産業化や農業経営体の強化を推進しています。併せて農産物加工や今帰仁ブランドの商品開発、観光業と連携を図りながら他の産業と一体となる農業振興を目指しています。



スイカ収穫体験



ビニールハウスでの菊栽培



マンゴー



紅イモの収穫



ゴーヤー



今帰仁家畜セリ市の様子

安定した子牛生産地の推進

本村の畜産業は黒毛和牛の子牛生産が中心であり、平成23年度には農林水産戦略品目の拠点産地の認定を受け、各種事業導入や農家の努力により種畜改良が高く評価されています。令和2年12月末時点で母牛、子牛合わせて1,923頭が飼育されています。優良繁殖雌牛を導入する際の支援や、優良な繁殖雌牛の増頭改良のスピードアップを図るためのゲノム育種価分析費用の支援を行うなど、安定した素牛生産地の確立及び素牛のブランド化を推進し、子牛の高価安定での取引が継続できるようJA、和牛改良組合及び関係機関と連携を図っています。また、肉用牛と山羊の飼育技術等の向上を目的に畜産共進会を開催しています。他に養豚業、養蜂などがあります。



家畜セリ市場全景



今帰仁村畜産共進会(牛の部)



今帰仁村畜産共進会(山羊の部)



水産業・林業



古宇利島より運天漁港を臨む

海と山の特性を活かした振興

本村の水産業は、素潜り・潜水器漁業等の潜り漁、刺網、延縄等の沿岸漁業が中心で、モズク養殖や小型定置網漁業も営まれています。運天漁港を中心にウニやタマンの放流などつくり育てる漁業、水産資源管理型の漁業を推進しています。林業分野については、多様化する住民ニーズや観光客へ対応するため、乙羽岳森林公園施設について指定管理者制度により、利活用を推進しています。えのきだけ、エリンギが特用林産物として市場に定着し、雇用の拡大が図られているところです。



モズク養殖



モズク養殖



ウニの放流



エリンギ



えのきだけ



モズクの選別作業



えのきだけ工場



乙羽岳のバンガロー



商工業



村内で穫れた野菜が並ぶ(今帰仁の駅そ〜れ)

今帰仁ブランドの推進

本村には酒造所や、製糖工場、陶器工房などがあり、地元特産品の製造に力を注いでいます。地元でとれた新鮮な野菜や魚介類、果実、草花、肉などの加工品を直接購入することができる商業施設もあります。



美しき古里(今帰仁酒造)



たつみや菓子店



ゆめじん



エドメ陶房



黒糖づくり(共栄社)



北部製糖工場



金城アグー(金城ミート)



観光



今帰仁グスク 桜まつり

恵まれた観光資源を活かす

本村は歴史と文化、自然に恵まれた観光資源を有し、世界遺産今帰仁城跡をはじめ、古宇利大橋、ワルミ大橋からの眺望は沖縄を代表する景勝地として多くの観光客が訪れます。

平成24年2月には村観光協会が設立され、滞在型の観光・リゾート地への転換を推し進めています。あわせて、6次産業との連携を密に今帰仁村の農畜産物を県内外にPRしています。



今帰仁まつり



古宇利島マジックアワー RUN in 今帰仁村



いいな運天港いちゃり場まつり



現代版組踊 北山の風



今帰仁グスク 桜まつり



古宇利島マジックアワー RUN in 今帰仁村



青年まつり



現代版組踊 北山の風



福祉保健・環境衛生



認定こども園みらい 運動会

人と人とのつながりを大切に

村民が安心して、安全に暮らせるように疾病予防や保健・福祉体制の充実、介護サービスの拡充を推し進め、住み慣れた地域で人と人とのつながりを大切に、お年寄りの見守り活動や子育て支援、サービスを充実させ、安心して子育てのできる環境づくり、地域一体となった元気な村づくりを目指し取り組みます。また、環境及び公衆衛生の向上を図るため、関係機関と連携してゴミ対策などに努めています。



今帰仁まつり健康相談



ひとり暮らし老人激励会



社協・親子ふれあい教室



ゆいまーる事業



元気アップ教室



ゴミゼロの日活動



建設・水道



村道仲宗根運天線

安心のインフラ整備

本村は様々な交付金事業や、補助事業などを活かし産業振興、交通安全対策など村民の生活環境の改善、利便性の向上や生産活動を支えるインフラ整備を推進していきます。水道事業においてはこれからも水の安定供給を心がけ、施設と水質改善に努めています。



今帰仁保育所・太陽光発電設備



与保城浄水場



村コミュニティセンター・太陽光発電設備



村づくり交付金今帰仁西部地区集道15号（崎山）



村づくり交付金今帰仁西部地区農道4号（平敷）



学校教育



小学校入学式

夢を実現する人材の育成

むらづくりの基本は人づくり。「地域の子供は地域で守り育てる」を合言葉に、地域で人を育て、人が地域を創造し発展していくむらづくりを目指しています。村内には県立高校が1校、1中学校、3小学校があり、北山学園構想を掲げ、幼児から高校生まで地域型一貫教育の実現に向け取り組んでいます。地域住民やPTA、子ども会が連携し、各々の地域の歴史を学び、伝統行事を継承しています。またスポーツ行事、自然体験学習などを通して人間性豊かな人材育成に取り組んでいます。



兼次小学校



今帰仁小学校



天底小学校



今帰仁中学校



県立北山高校



お弁当の日



中学校卒業式



社会教育



村民の浜でのわんぱく自然探査塾

豊かなライフステージを

村民の生きがいづくりを考え、生涯現役の気概を支える生涯教育を推進し、様々なライフステージに合った学習機会の創出をしていきます。あわせて、それぞれの年齢・体力に合ったスポーツなどに親しむ環境作りを通して、健康で生き生きとした日常生活を営めるようサポートしていきます。

また、本村はかつてやんばる文化の中心地で、世界遺産今帰仁城跡をはじめ、国指定文化財の諸志御嶽の植物群落、県指定である謝名の操り獅子など、先代から継承された豊かな歴史、文化・自然を生かした教育にも力を入れています。



公民館講座



波嘉敷島キャンプ



リトミック教室



発掘体験学習(今帰仁城跡)



新春ロードレース大会



村立図書館のお楽しみイベント



ベビーマッサージ教室



手づくり教室



高齢者学級

NAKIJIN
防災



仲宗根区防災訓練

安全・安心な地域生活環境づくり

南に緑豊かな乙羽岳、北に古宇利島、東シナ海を望むマリトレジャーなどが楽しめる恵まれた自然環境があるなかで、台風などの風水害、水難事故に対応し、地震など大規模災害を想定した避難誘導や負傷者搬送などの訓練を実施していきます。また、全国瞬時警報システム、通称『ジェイ・アラート』の運用も始まり、村民への防災意識を高めていきます。

また、村民が安心して日々の暮らしを営めるよう犯罪や交通事故など、様々な危険から村民の生命・財産を守り、安全・安心な地域生活環境づくりを行っています。



仲宗根区防災訓練



海拔表示



消防操法大会



救急訓練デモンストレーション



出初式



交通安全活動



港湾



運天港全景

天然の良港・運天港

本村は本部半島にあって、古宇利島、屋我地島に囲まれた天然の良港、運天港があり、大正から昭和にかけて奄美諸島や近隣離島との物流の拠点港として畜産物、サトウキビなどを取り扱い、粗糖の原料の積み出し港としても栄えました。戦時中は日本軍の特殊潜航艇基地があり、今もその面影を残す壕が存在します。

現在は沖縄県が管理する重要港湾であり、台風時の避難港として位置づけられ、また、伊是名・伊平屋定期航路の貨物・生活物資・観光の玄関口として重要な役割を担っています。

平成31年には冷凍冷蔵施設が整備され、農水産物の鮮度維持と安定供給が可能となり、北部地域における農水産業、加工業等の振興・活性化に大きく貢献しています。



運天港ターミナル



夏休みには多くの観光客が訪れる



積みおろしの様子



冷凍冷蔵施設



行政・議会



今帰仁村役場 外観



議場の様子



ふるさとづくりを担います



行政懇談会

華ひらくふるさとづくり、夢づくり

「ムラ・人・農が織りなすゆがふむら」を掲げ、村民の意見や要望などに応えようと様々な施策を実施している行政と、選挙によって選ばれた11人の議員が村民本位の視点から行政運営のチェック・提言などを行い、村民生活の向上に取り組んでいます。この二つの機関が機能することで、うるおいと安らぎのあるふるさとづくりに邁進します。

今帰仁村の三役



村長
久田 浩也



副村長
比嘉 克雄



教育長
玉城 奎

今帰仁村議会議員



議長
座間味 薫



副議長
上原 祐希



総務文教委員長
座間味 邦昭



総務文教副委員長
與那嶺 透



総務文教委員
山城 太



総務文教委員
吉田 清尊



総務文教委員
玉城 みちよ



経済建設委員長
與儀 常次



経済建設副委員長
與那 勝治



経済建設委員
島袋 誠



経済建設委員
嘉陽 崇



今帰仁村
19
集落の紹介



今帰仁村
集落(字)区域図

今泊 Imadomari

●人口:902人 ●世帯数:424戸

※令和2年12月末現在



今帰仁城跡・大隈外壁

今泊は今帰仁と親泊が合併した字で、ウエードゥマイと呼ばれます。二つの村(ムラ)が合併したことを示すのが二つの神ハサギです。また、今泊の集落は今帰仁グスクから麓に移動しています。集落内にマーウイ(馬場跡)、監守の一人であった和賢(今帰仁按司三世)のアカン墓、県指定のコバテイシがあり、山手に世界遺産の今帰仁城跡があります。集落内は福木で囲まれ長閑です。今帰仁グスクに「今帰仁ぬ城 しむないの九年母 志慶真乙樽がぬきやいはきやい」の歌碑があります。



今泊の獅子(豊年祭)



コバテイシ



御神待ち石



ハサギングー(今帰仁神ハサギ)

今帰仁村には19のムラ・シマ(今の字)があります。一つひとつの字(アザ)は個性を持っており、字ごとの歌(マークニー)の歌詞にムラ人の個性が謳われています。各字の紹介文の末尾にマークニーを記載しています。



地域活動拠点活性化施設
(今泊)



兼次構造改善センター



諸志公民館

兼次 Kaneshi

●人口:302人 ●世帯数:159戸

※令和2年12月末現在



ワンシャヤーの石垣

兼次はカニシヤハニシと呼ばれ、古くは兼城村とあります。兼次の集落は山手の古島から現在地に移動し、故地にウタキがあります。兼次のウイヌハーから集内のタンクに水が引かれ、第五タンクは今でも使われています。兼次小学校は、当初兼次地番にあり、明治42年に現在地(今泊地番)に移転しましたが、学校名はそのままで。兼次パンタには沖縄学の研究者、島袋源一郎(兼次出身)の顕彰碑があります。「兼次泉ぬ水や 山からが湧ちゅら 兼次美童ぬ 色き美らさ」と謳われています。



島袋源一郎先生顕彰碑



兼次パンタから見た集落



兼次の第五タンク

諸志 Syoshi

●人口:395人 ●世帯数:195戸

※令和2年12月末現在



志慶真神ハサギと諸喜田神ハサギ

諸志はスクジャと呼ばれ、明治36年に諸喜田村と志慶真村が合併し諸志となりました。二つの村の合併なので、その名残りとして神ハサギが二つあります。諸志の御嶽の植物群落は国指定の天然記念物となっています。諸志に中城ヌルドウンチがあり、ノロが首からかける勾玉やノロが乗る馬具が残っています。諸志の佐田浜には上間大親の先祖を祀った赤墓、集落内に村指定の焚字炉があります。国道沿いには諸志共同売店があります。「諸喜田泉に待ちゆみ 兼次泉に待ちゆみなりば 諸喜田泉や ましやあらに」の謡があります。



ヤグザイ(踊り)



諸志のフブガー



中城ノ口の勾玉



赤墓(佐田浜)



今帰仁村
集落(字)区域図

与那嶺 Yonamine

●人口:326人 ●世帯数:159戸

※令和2年12月末現在



長浜のイジシン

与那嶺はユナミと呼ばれます。海岸は与那嶺長浜(ユナミナガハマ)と呼ばれる美しい浜で、そこに山原船が荷物を集積したウワーヤチガマ(豚焼ガマ)があります。構造改善センター(公民館)の広場はグランドゴルフやゲートボール場として利用されています。その側にある沖縄の名木百選の大きな赤木は、夏場の木陰となり休み場所となっています。今ではほとんど無くなってしまいましたが、スクミチ(宿道)沿いに並松(ナンマチ)がありました。「昨夜の約束や 森山ぬかじり 与那嶺美童ぬ 夜なび長さ」



国頭サバクイ



大赤木の側でゲートボール



神ハサギ



ユナンガー

仲尾次 Nakaoshi

●人口:323人 ●世帯数:154戸

※令和2年12月末現在



神ハサギと公民館

仲尾次はナコーシと呼ばれ、古くは中城村とあります。仲尾次農村構造改善センター(公民館)前に神ハサギと舞台があり、三年廻りで豊年祭が行われ、演目の「亀の甲」(唐手踊り)がよく知られています。崎山と共に戦後、米軍に出荷する清浄野菜の指定地でした。国道沿いにスイカの集荷場があり、季節になると賑わいます。サンゴ礁の美しい海岸にはかつての石切り場の跡があり、イジヌイヤーヤという洞窟があります。県立北山高等学校は仲尾次にあります。「仲尾次美童や 天ぬ星心 拌まりやすしが 自由やならん」



長者の大主



石切り場



石橋



イジヌイヤーヤ



与那嶺構造改善センター



仲尾次農村構造改善センター



崎山公民館



平敷公民館

崎山 Sakiyama

●人口:380人 ●世帯数:180戸

※令和2年12月末現在



ウドゥイバンタから見た浜

崎山はヒチャマと呼ばれます。集落は台地上に形成され、山手に細長く延びています。村内で唯一の茅葺き屋根の神ハサギがあり、神ハサギの古くからの作りを残しています。公民館の側に共同売店があります。スイカや野菜づくりが盛んで東原は一大ハウス団地となっています。集落内を東西に旧宿道(クシヌスクミチ)が通っています。海岸にはウサバンタがあり、そこから見るリーフは見事です。ヒチョシナ川沿いには古墓があり、その一つに池城墓(イチグスクバカ)があります。地番は平敷ですが、一帯の墓の多くは崎山の人達です。名護市の屋部一門と7年毎に交互に行う参拝行事があります。「北風や吹ちん 島うちや静か 崎山並松の 枝の美らさ」



崎山発祥地の碑



青年のエイサー



お宮



池城墓(イチグスクバカ)

平敷 Heshiki

●人口:495人 ●世帯数:226戸

※令和2年12月末現在



ティービガジマル

平敷はビシチと呼ばれています。国道505号線沿いにあるガジマルはティービガジマルと呼ばれ、西側の間切役人が運天番所から帰る時、平敷あたりで暗くなるので、そこにトuppシ(松ヤニ)を置き松明にしたことに由来するといひます。集落の北側にウタキがあり、ウタキの内部にイビや神アサギ、拝所がまとめられています。ウタキの東側にビシチガーがあり、灌漑用水に利用されています。明治時代の図面が残っていて、小字地名の変遷を知ることのできるものです。「井ふかさく原」の印部石がイナブス(稲千毛)にあります。また板で塞がれた墓があり、大主墓と呼ばれ、平敷大主の墓だと伝えられています。「平敷 泉ぬ水や 石かみてい湧ちゅさ 平敷美童ぬ 思い深さ」



盆踊り



平敷大主の墓



印部石(原石)



平敷のウタキの内部



今帰仁村
集落(字)区域図

越地 Koechi

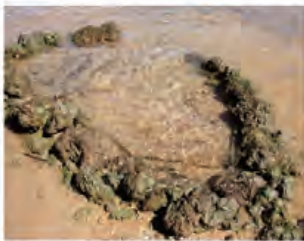
●人口:388人 ●世帯数:158戸

※令和2年12月末現在



仲原馬場

越地はフィジと呼ばれ、昭和12年に謝名と仲宗根の一部を割いてできた字です。越地には今帰仁小学校が所在し、県指定の仲原馬場があります。松並木の美しい馬場で、かつて原山勝負(農産品評会)が行われました。また宮里家が台湾から持ってきた土帝君があり、旧2月2日に祭祀が行われます。海辺は大井川の河口となり、炬港(ターミナト)があります。水が湧き出る越地川(フィジガー)があり、「越地川の水や 砂かみて湧ちゆさ 越地美童ぬ くんだ美らさ」と謡われています。



フィジガー



ターミナト



敬老会



土帝君

謝名 Jana

●人口:640人 ●世帯数:266戸

※令和2年12月末現在



整備されたトノヌカ

謝名はジャナと呼ばれ、清らかな水に由来する地名です。大島原はウタキを背にした古い集落の形態を保っています。県指定の操り獅子(アヤーチ)は、県内三ヶ所(謝名・本部町伊豆味・名護市川上)のみにあります。人が入った獅子ではなく、糸で操って舞いをさせ、豊年祭(五年廻り)の最後に行われます。南側に乙羽岳があり、「琉球国由来記」(1713年)にはウランサンが立つアフリハナがあると記されています。今帰仁小学校や仲原馬場は現在越地ですが、分離するまでは謝名でした。JAや診療所などがあります。「いちゅび小に惚りてい 謝名前坂通てい 通てい 珍らさや シカぬウナジ」



松竹梅鶴亀



シカー



操り獅子(アヤーチ)



謝名神社



越地公民館



謝名
女性・若者等活動促進施設



仲宗根公民館



地域活動拠点活性化施設
(玉城)

仲宗根 Nakasone

●人口:967人 ●世帯数:439戸

※令和2年12月末現在



仲宗根のお宮(グシクンチヂ)

仲宗根はナハジュニやウフンジャーと呼ばれ、大正5年に役場が運天から仲宗根に移ると今帰仁村の中心地となります。明治21年頃、大井川に橋が架かると、寒水のフルマチから仲宗根の前田原に市場や質屋などが移動し、仲宗根にマチが発達します。街の中央部を大井川が流れ、河口はターミナトです。役場やコミュニティセンター、郵便局、銀行、Aコープなどがあります。また、4つの中学校を統合した今帰仁中学校があります。公民館の後方にウタキ(グシクンチヂ)があり、南斜面に古い集落の景観が残っています。「だんじゅとゆまるる仲宗根ぬ島や 黄金森くさてい 田ぶくめなち」



ミヤークニー歌碑



豊年祭の道ジュネー



グシクンチヂの展望台



お宮

玉城 Tamashiro

●人口:806人 ●世帯数:340戸

※令和2年12月末現在



玉城の神アサギと拝所(殿)

玉城はタモーシと呼ばれ、明治36年に玉城・岸本・寒水が合併してできた字です。岸本はキシムトゥ、寒水はカンスイヤパーマと呼ばれます。寒水には明治時代にマチがあり、今ではフルマチと呼ばれます。玉城には乙羽トンネルが通り、名護市への主要道路となっています。玉城のスモチナウタキは、旧4月15日に行われる玉城・謝名・平敷・仲宗根のタキヌウガンの拝所となっています。団地やアパート、新築家屋が増え、人口が増加している字です。「ソーリガーぬ水や 水ゆいがやゆら 玉城美童ぬ 身持ち美らさ」



玉城の拝所



寒水アサギ



スモチナウタキのイベ



寒水のソーリガー



今帰仁村
集落(字)区域図

呉我山 Gogayama

●人口:178人 ●世帯数:94戸

※令和2年12月末現在



呉我山神社

呉我山はグガヤマと呼ばれ、大正9年に玉城・天底・湧川の一部を統合した字(アザ)です。大井川の上流部に位置し、そこは1736年まで名護市呉我があった場所です。古呉我や拜原の小字があり、呉我村があったことを示しています。字内にシイナ城跡(世界遺産の今帰仁城跡附)があります。山手に位置した字でかつてパイン栽培が盛んでした。藍や樟脳が生産されていたこともあります。平成3年に呉我山トンネルが開通し、村内から名護方面への交通量の多い道路となっています。「呉我山ぬシマや なひん広さありば 我が心やていん広くなゆら」



シイナ城跡



呉我山トンネル



子産堂の石



巡査石



呉我山神社

湧川 Wakugawa

●人口:723人 ●世帯数:393戸

※令和2年12月末現在



ヤガンナ島と塩田跡

湧川は1738年に創設された村です。羽地内海に面し、かつて振慶名・我部などがあった場所です。寄留の人々が多い字です。近世、江戸上りの随行で路次衆を担当した一族が湧川に寄留し、村の豊年祭に導入しています。湧川には塩づくり伝承があり(我部の故地)、ワルミのティラとスーヤ(塩屋)の拝所があります。また、羽地内海のヤガンナ島は墓の島と呼ばれ、塩田の跡が残っています。昭和20年12月に湧川小中校が創設されますが、平成15年に湧川中学校が今帰仁中学校へ、22年に小学校が天底小学校に統合されました。「湧川美童や 天ぬ星こころ 拝まりやすしが 自由やならん」



湧川のムラガー



ワルミのテラ



獅子小屋の前での路次衆と棒術



慰霊塔



呉我山
女性・若者等活動促進施設



湧川集落センター



天底公民館



勢理客公民館

天底 Amesoko

●人口:998人 ●世帯数:451戸

※令和2年12月末現在



天底老人会

天底はアミスと呼ばれ、1719年に現在の本部町伊豆味地内から移動してきた字です。移動当初は神アサギやウタキやニガミヤー一帯に集落が発達したと見られます。明治21年に天底校が今帰仁校から分離します。平成22年に天底と屋我地島との間にワルミ大橋が架かり、海峡は風光明媚の地となっています。村の大事な湧泉であるアミスガーはシマチスジノリが生育していた、県指定の文化財です。クンジャドウの黄金森にはガジュマルの大木があります。「シマヤマがわらび 今帰仁ぬ天底 美らく生まれたる 花の童」



ワラビミチ



アミスガー



タキヌウガン



アブシラレー

勢理客 Serikyaku

●人口:302人 ●世帯数:129戸

※令和2年12月末現在



道ジュネー

勢理客はジッチャクと呼ばれ、「おもろさうし」に「せりかく」とあります。勢理客は村内で一番面積の狭い字（アザ）ですが、かつては渡喜仁まで勢理客の範囲でした。勢理客ノロは、「おもろ」で「せりかくののろあけしののろ」と謡われ、神アサギの側にノロドンチ跡の祠があり、二本の簀が残されています。勢理客の名称は浦添市、伊是名村にもあります。公民館の前に、天底小学校の発祥の碑が建立されています。公民館の側にウイスハーとヒチャヌハーという2つの湧水があり、ヒチャヌハーの隣に芭蕉の糸を採る畑があります。「インガ石道やチンシ割いどうくる 登てシナグ道 涼みどうくる」



ヒチャヌカー



ヨシコトの湧泉



幸地新蔵先生の
顕彰碑



ウタキ



ウフユミ



今帰仁村
集落(字)区域図

渡喜仁 Tokijin

●人口:302人 ●世帯数:141戸

※令和2年12月末現在



渡喜仁街道

渡喜仁はトッキジンと呼ばれ、昭和16年に勢理客の大半と仲宗根と運天の一部から独立した字(アザ)です。渡喜仁の多くの家が廃藩置県(明治12年)頃に移住し、戦前戦後に移住してきた人達もいます。散在型の集落を形成しています。長く続く砂浜のウッパマ(大浜)があり、村民や観光客が訪れる美しいビーチとなっています。海岸の崖下にビーチャーガーがあり、付近の人々の飲料水や生活用水に使われた時代がありました。運天港からターミナト(炬港)を繋ぐ宿道が渡喜仁を通っています。「今帰仁に生り 今帰仁に育ち なまどう我が親ぬ ならんぎさぬ」



盆踊り



ハキジヌメーの森



ハキジヌメーの塚



ハキジヌメーの塚の内部

上運天 Kamiunten

●人口:324人 ●世帯数:156戸

※令和2年12月末現在



運天港に着岸するフェリー

上運天はウインシマと呼ばれますが、古くは上運天と運天が一つだったことから下運天(シチャンシマ)に対する呼び方と言えます。豊年祭が毎年行われており、獅子舞いの演舞などがあります。ウタキの空間に神アサギやお宮などの拝所があり、旧4月にタキヌウガン、旧7月にウフユミなどの祭祀が行われています。かつての浮田港は現在運天港と呼ばれ、伊是名・伊平屋島を結ぶフェリーが発着する港です。「運天ぬ番所 通いぶさあしが ぎまら大道ぬ ぎまぬくささ」



ワラビミチ



お宮



村踊の屋外ステージ



運天番所を唄った歌碑



渡喜仁地域総合施設



地域活動拠点活性化施設
(上運天)



運天構造改善センター



古宇利
農村環境改善サブセンター

運天 Unten

●人口:212人 ●世帯数:112戸

※令和2年12月末現在



クンジャーバマ

運天はウンティンと呼ばれ、運天港は1471年、朝鮮の『海東諸国紀』『琉球国図』に重要な港と記されるほど中心的な港でした。大正5年まで役場(番所)があり、中国や日本の船の他、近世末にはイギリス・フランス・アメリカのペリー艦隊等が訪れています。源為朝伝説に関わるティラガマ、百按司墓、大北墓、対岸の屋我地島にオランダ墓などの史跡があり、村内で初めてコンクリートを使用した運天隧道(トンネル)があります。港の沿道には当時のコバティシが影を作り、国頭・大宜味・今帰仁・本部の税の集積場所だった名残りが伺えます。「運天の嫁やないぶさかあしが あだん葉ぬたむん 取いぬ苦ちさ」



源為朝公上陸址碑



コバティシ(クワディーサー)



運天のテラガマ



運天トンネル

古宇利 Kouri

●人口:359人 ●世帯数:227戸

※令和2年12月末現在



古宇利島の遠見台

古宇利島はほぼ半径1キロの円形で「海を越えたところにある島」に由来するクイ・ファイ(越)ジマと呼ばれています。平成17年、屋我地島との間に古宇利大橋が架かるまで、運天港からフェリーが運航していました。人類発祥伝説があり海神祭(ウンジャミ)やタキヌウガンなど17の祭祀が行われ、神の島とも言われていましたが、神ンチュの高齢化と後継者不足のため平成23年頃から区長さんが祭祀を行うようになりました。渡海浜には珍しい穴のあいたポットホールや近世期の遠見台があり、7月のウニ漁の時には島が賑わいます。「古宇利ぬ前ぬ黒潮 渡ららん黒潮 七ち橋架きてい 渡ち給り」



シラサのガマ



シラサ岬



ジャンジャン岩



古宇利漁港

概況



●位置 広ぼう 東西約10.5km
南北約8.3km
面積39.93km² (古宇利島3.13km²)
管内極点の経緯度
東端 東経128° 1'48"
西端 東経127° 55'9"
南端 北緯26° 37'56"
西端 北緯26° 42'39"
今帰仁村役場庁舎所在地の経緯度
東経127° 58'29"
北緯26° 40'43"

●位置図

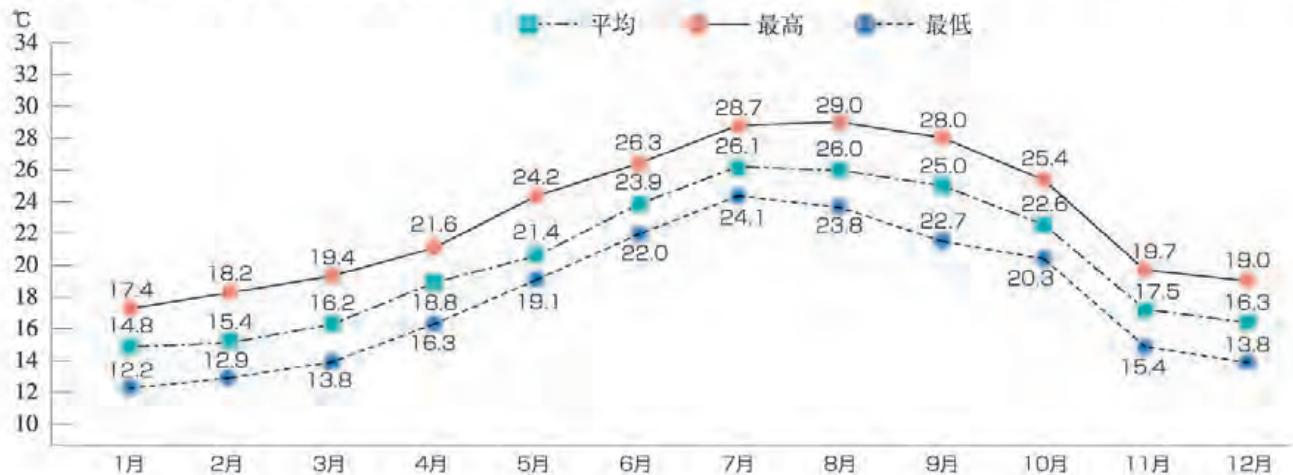


●地目別面積 ※固定資産税の課税地目で分類しています。

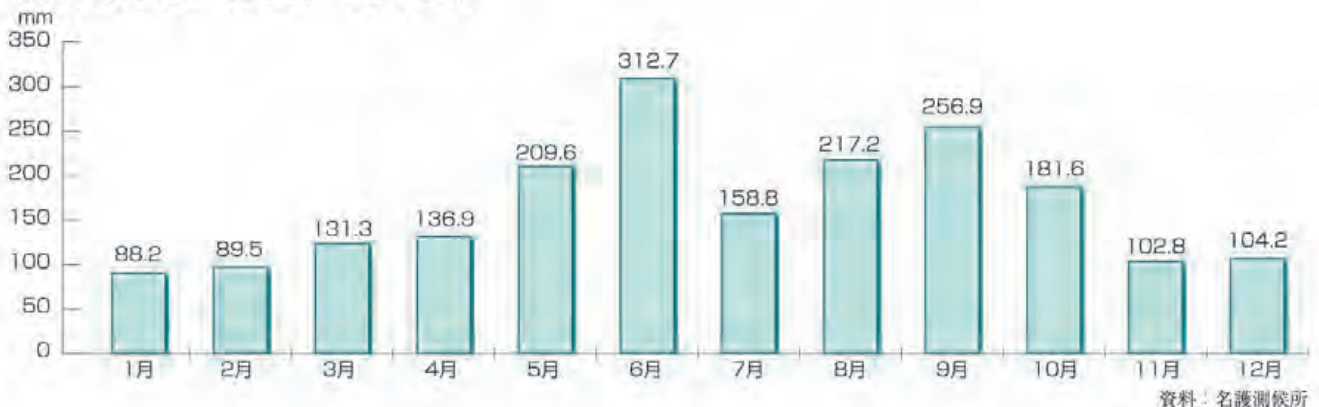
	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	地積(m ²)	筆数	地積(m ²)	筆数	地積(m ²)	筆数	地積(m ²)	筆数	地積(m ²)	筆数	地積(m ²)	筆数	地積(m ²)	筆数
田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
畑	11,551,648	13,901	11,539,483	13,966	11,526,491	13,770	11,566,514	13,782	11,512,511	13,705	11,892,231	13,835	11,883,517	13,847
宅地	2,432,470	8,778	2,456,267	8,882	2,513,641	8,866	2,554,424	8,950	2,590,956	9,185	2,628,090	9,351	2,652,061	9,449
池沼	33,791	107	33,791	107	33,908	108	33,965	109	33,839	109	33,506	108	33,297	107
原野	17,365,817	11,782	17,340,099	11,855	17,255,533	11,506	17,179,801	11,481	17,150,391	11,474	16,052,779	10,246	15,988,745	10,165
雑種地	2,681,435	2,467	2,693,900	2,500	2,642,649	2,734	2,638,773	2,775	2,702,602	2,920	3,406,486	4,103	3,449,035	4,120
その他	3,282,801	12,923	3,284,647	12,992	3,376,781	13,710	3,379,909	13,817	3,367,489	13,909	3,344,949	14,026	3,351,009	14,185
山林	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	37,347,962	49,958	37,348,187	50,302	37,349,003	50,694	37,353,386	50,914	37,357,788	51,302	37,358,041	51,669	37,357,664	51,873

資料：住民課(固定資産概要調査)

●月別平均気温 (2001~2010年)



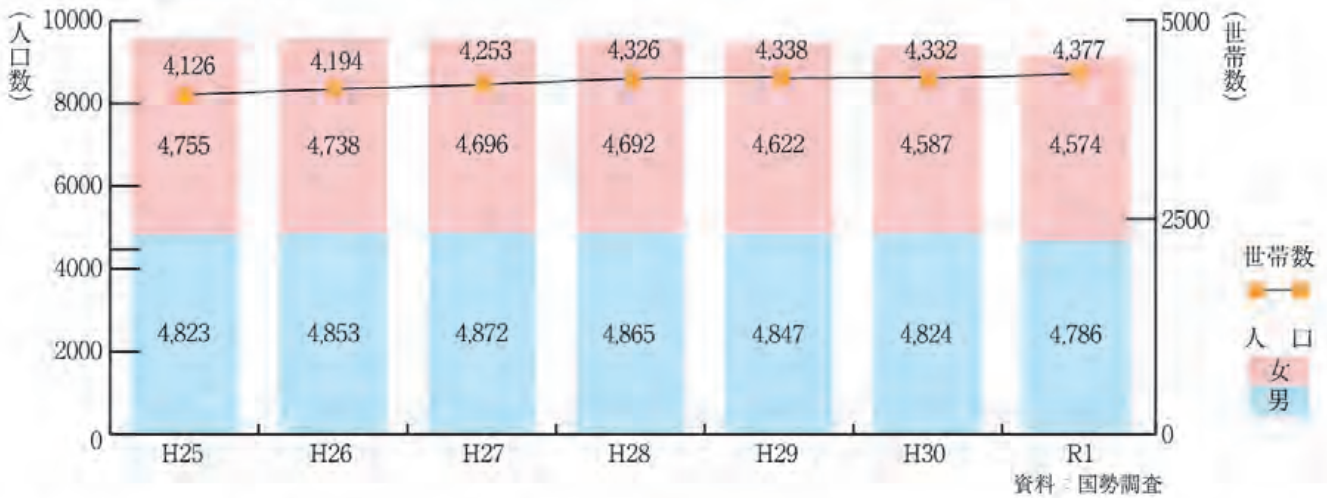
●月別平均降水量 (2001~2010年)



資料：名護測候所

概況

●人口・世帯数の推移



●住民基本台帳による人口・世帯数・人口動態の推移

(単位：人、世帯) 各年12月末現在

年度	自然増減数			社会増減数			年間増減数	人口 (年度末現在)	世帯数 (年度末現在)	男	女
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減					
平成25年度	79	110	-31	438	381	57	26	9,578	4,126	4,823	4,755
26年度	86	111	-25	448	393	55	30	9,591	4,194	4,853	4,738
27年度	80	101	-21	418	412	6	-15	9,568	4,253	4,872	4,696
28年度	89	133	-44	409	377	32	-12	9,557	4,326	4,865	4,692
29年度	78	133	-55	385	432	-47	-102	9,469	4,338	4,847	4,622
30年度	67	129	-62	377	403	-26	-88	9,411	4,332	4,824	4,587
令和元年度	87	124	-37	412	430	-18	-55	9,360	4,377	4,786	4,574

資料：住民基本台帳

産業

●産業別就業者数

各年10月1日現在

産業	業数	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
総計		4,002	4,066	3,966	4,068	4,060	2,292
第一次産業		1,487	1,355	1,210	1,227	1,049	134
農業		1,423	1,294	1,146	1,163	1,003	134
林業・狩猟業		5	3	19	7	4	0
漁業・水産・養殖業		59	58	45	57	42	0
第二次産業		663	715	715	644	573	
鉱業		2	3	9	2	4	
建設業		480	521	501	405	353	264
製造業		181	191	205	237	216	186
第三次産業		1,851	1,990	2,041	2,185	2,403	
卸売業・小売業		544	580	551	453	447	293
金融・保険・不動産業		39	41	27	31	60	41
電気・ガス・水道業		11	12	10	9	12	0
サービス業		927	1,035	1,109	1,389	1,541	404
運輸・通信業		190	160	169	151	153	142
公務		140	162	175	152	190	
分類不能		1	6	—	—	35	

資料：国勢調査

●専業別農家の推移

年度	総農家数	自給的農家数	販売農家数					
			総数	主業農家数	専業農家数	兼業農家		
						総数	第1種兼業農家	第2種兼業農家
昭和54年度	1,364	—	—	—	410	954	405	549
昭和59年度	1,298	—	—	—	514	784	359	425
平成元年度	1,261	—	—	—	516	745	239	506
平成6年度	1,066	—	—	—	406	660	170	490
平成11年度	682	—	—	—	334	348	162	186
平成16年度	573	—	—	—	320	253	130	123
平成21年度	526	—	—	—	268	258	148	110
平成27年度	589	144	445	245	286	159	68	91

資料：農林業センサス

●年次別農業粗生産額及び生産農業所得

単位：百万円

区分 年次	農業粗生産額																	生産農業所得率	生産農業所得	
	総額	耕種										畜産								
		小計	花き	米	いも類	野菜	果実	パイン	さつまいも	菜たば	その他	小計	牛		豚	鶏	鶏卵			その他畜産物
平成16年度	372	329	132	—	3	150	19	6	19	2	4	43	×	35	4	×	×	3	64.2	239
平成17年度	355	308	121	—	3	136	27	6	16	1	4	47	×	40	5	×	×	2	61.7	218
平成18年度	357	308	127	—	3	131	21	5	21	1	4	49	×	40	5	×	×	—	62.6	223

※第37次沖縄農林水産統計年報で、平成16年まで掲載していた「農業構造動態調査」の結果については、平成18年から都道府県別結果を公表していないため、掲載をやめたことと、生産農業所得統計の農業産出額及び生産農業所得は、平成18年までは市町村別推計であったが、平成19年から都道府県別推計に変更となったため子豚や鶏雛の県内他市町村への販売については農業産出額として計上されないことから、年度別による比較、推移ができる年度までの掲載とした。

●経営耕地別面積の推移

単位：(ha・戸)

区分 年	経営耕地 総面積	田				畑(樹園地を除く)				樹園地			
		田のある 農家数	総面積	稲を作った田		畑のある 農家数	総面積	普通畑		樹園地の ある農家数	総面積	果樹園	
				農家数	面積			農家数	面積			農家数	面積
平成16年	793	—	—	—	—	571	632	468	511	121	61	103	61
21年	686	—	—	—	—	526	518	439	422	96	60	87	60
26年	463	—	—	—	—	395	394	364	304	89	68	87	58

資料：農業センサス

●家畜飼養頭羽群数

各年12月末現在

項目	肉用牛		乳用牛		馬		豚		山羊		採卵鶏		ダチョウ		アヒル		かも等		養蜂	
	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	群数	戸数	群数
平成25年	50	1,648	0	0	4	11	5	1,249	62	408	10	340	1	12	5	378	3	111	2	195
平成26年	48	1,679	0	0	6	11	5	1,273	96	688	15	358	1	13	5	268	3	135	2	415
平成27年	45	1,704	0	0	8	15	5	1,261	108	694	18	409	1	13	5	264	5	167	2	495
平成28年	42	1,714	0	0	5	11	5	1,319	126	867	17	325	1	10	9	240	8	131	4	310
平成29年	44	1,951	0	0	4	11	5	1,050	127	979	17	469	1	19	10	240	11	178	5	415
平成30年	44	1,921	0	0	4	11	5	998	124	953	14	314	1	20	7	102	8	95	2	263
令和元年	42	1,909	0	0	5	11	6	929	119	844	13	250	1	19	11	144	7	159	3	572

資料：村家畜家禽調査

●漁種別水揚量

各年1～12月 単位：kg

種別 年次	タイ類	マグロ	タカサゴ	ブダイ	アジ	カツオ	サワラ	その他	イカ
平成25年	1,492.80	373.8	—	15,627.50	1,543.80	2,179.20	14.2	34,968.60	412.5
26年	841.2	139.6	—	14,545.20	2,047.50	1,462.70	15	40,462.70	428.3
27年	733.2	583.7	—	12,463.70	2,439.00	562.9	60.5		209.2
28年	786.3	623	—	11,007.10	2,807.90	353.8	16.5	39,082.90	139
29年	768.7	517.3	—	9,038.40	2,551.10	1,933.30	38.5	41,540.10	160.3
30年	838.9	744.6	674.8	12,718.80	2,883.30	1,069.3	44.5	41,982.00	207.2
令和元年	2,683.2	2,942.3	469.3	14,067.90	2,600.60	736.70	15.8	42,227.10	262.3

甲イカ	ソデイカ	タコ	エビ類	サザエ	その他の貝	カニ類	ウニ	モズク	その他藻類	合計
1,288.50	9,398.90	8,231.20	636.60	1,917.50	6,873.60	41.8	0	12,807.00	1,246.90	99,054.4
1,290.20	6,004.30	6,440.30	759	2,872.30	7,644.00	47.8	0	80,463.00	1,067.00	166,530.1
1,384.00	8,024.30	7,562.60	728.5	3,764.70	7,192.30	10.1	0	81,107.00	2,329.00	129,154.7
1,206.00	4,128.10	5,649.60	945	1,122.40	4,066.10	8.9	0	340,251.00	1,128.10	413,321.7
869.6	3,727.10	8,252.30	708.7	555.5	4,207.60	150.5	0	34,410.00	1,587.30	111,016.3
1,161.80	157.30	7,787.70	644	299.20	6,758.20	201	0	96,700.00	337.00	175,209.6
1,680.4	8,986.30	7,914.80	803.8	310.2	7,997.50	808	0	65,190.00	177.40	159,873.6

注記：1.平成23～29年の魚種名、タカサゴは、セリシステム上、雑魚に反映されているため、その他で合算。

資料：経済課

●事業所数等の推移

年次 種別 区分	昭和61年		平成3年		平成8年		平成13年		平成18年	
	事業所数	従業者数(人)	事業所数	従業者数(人)	事業所数	従業者数(人)	事業所数	従業者数(人)	事業所数	従業者数(人)
総数	487	1,946	459	2,002	457	2,272	464	2,464	450	2,464
農林水産業	2	26	2	56	3	17	4	26	4	29
鉱業	1	2	0	0	—	—	—	—	—	—
建設業	28	269	28	249	29	298	40	311	42	267
製造業	23	159	11	107	18	142	17	130	24	217
卸売・小売業	256	558	243	603	223	590	167	432	156	441
金融・保険業	2	12	2	12	2	13	3	14	2	6
不動産業	3	3	2	2	1	1	5	9	5	4
運輸・通信業	33	127	33	154	26	146	23	176	17	136
電気・ガス・水道業	1	6	1	6	1	7	1	6	1	7
サービス業	129	661	130	675	147	912	197	1,173	82	342
公務	9	123	7	138	7	146	7	187	7	159

資料：事業所統計調査

道路・水道

●村道整備状況の推移

区分	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
路線数(本)		165	165	165	165	165	165	165	165	165
総延長(m)		139,174	139,174	139,174	139,174	139,161	139,161	139,022	139,022	139,022
実延長(m)		133,229	133,229	133,229	133,229	133,223	133,223	133,084	133,084	133,084
改良済延長(m)		83,096	83,096	83,096	83,096	87,262	87,262	88,838	88,838	88,838
舗装済延長(m)		112,654	112,654	112,654	112,654	113,259	113,259	115,276	115,276	115,276

資料：建設課

●有効水量及び無効水量

年度	種別	配水量(m ³)	有効水量(m ³)	無効水量(m ³)	有効率(%)	無効率(%)
平成25年度		1,223,393	1,135,658	87,735	92.83	7.17
26年度		1,205,444	1,113,770	91,644	92.4	7.6
27年度		1,250,695	1,123,251	127,444	89.81	10.19
28年度		1,224,150	1,155,641	68,509	94.4	5.6
29年度		1,250,030	1,187,032	62,998	94.96	5.04
30年度		1,272,885	1,168,393	104,492	91.79	8.21
令和元年度		1,352,242	1,193,835	158,359	88.29	11.71

資料：水道課

●用途別給水戸数及び給水量

単位：ℓ・%

年度	種別			家庭用			営業用			公共用			その他		
	給水戸数	給水量	構成比	給水戸数	給水量	構成比	給水戸数	給水量	構成比	給水戸数	給水量	構成比	給水戸数	給水量	構成比
平成25年度	3,648	75,379	100	3,209	52,542	70	318	13,199	18	72	4,794	6	49	4,844	6
26年度	3,679	76,908	100	3,226	51,203	67	331	15,250	20	72	5,118	7	50	5,337	7
27年度	3,733	81,845	100	3,273	54,135	66	335	16,866	21	71	5,241	6	54	5,603	7
28年度	3,765	80,621	100	3,292	52,001	65	349	18,033	22	70	4,883	6	54	5,704	7
29年度	3,823	84,514	100	3,310	54,663	65	382	18,312	22	71	5,277	6	60	6,262	7
30年度	3,870	81,410	100	3,323	49,729	61	413	19,819	24	68	5,272	7	66	6,590	8
令和元年度	3,915	89,154	100	3,338	56,171	63	445	20,532	23	69	5,213	6	63	7,238	8

資料：水道課

交通・消防

●交通事故発生状況 *物損事故については交通白書統計なし

区分	人身事故 件数	人身事故			
		死傷者計	死者	重傷者	軽傷者
平成25年	17	31	0	2	29
26年	11	17	0	2	15
27年	13	26	0	1	25
28年	17	19	0	0	19
29年	22	30	0	4	26
30年	12	16	3	1	12
令和元年	11	16	1	0	15

(単位：件、人) 資料：交通白書

●火災発生の状況

年次	発生件数 (件)	損害額 (千円)
平成25年	1	112
26年	1	230
27年	7	0
28年	4	4,709
29年	5	373
30年	9	287
令和元年	2	0

資料：本今消防本部

●救急車出動状況

区分	合計		交通		労働災害		急病		その他	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
平成25年	569	548	28	34	3	3	355	336	183	175
26年	637	622	24	32	8	8	422	415	183	167
27年	723	694	42	51	2	2	491	468	188	173
28年	731	698	36	42	2	2	513	489	180	165
29年	703	683	34	41	6	6	475	475	170	168
30年	671	628	27	28	5	5	446	424	193	171
令和元年	650	622	24	28	5	5	435	421	186	168

資料：本今消防本部

福祉・保険

● 村立保育所状況

各年4月1日現在

区 分 年 度	保育所数	保育士	調理人	栄養士数 (委託)	収容定員	在 籍 人 員				
						総 数	0歳児	1～2歳児	3歳児	4歳児
平成25年度	4	44	8	1	280	300	22	118	82	78
26年度	4	43	8	1	280	305	30	129	63	83
27年度	4	48	8	1	280	320	28	141	78	73
28年度	4	47	8	1	280	326	24	139	82	81
29年度	4	42	8	1	280	321	21	137	80	83
30年度	3	25	6	1	220	182	11	84	37	50
令和元年度	3	24	6	1	220	156	9	62	47	38

※平成30年度より、民間保育園が閉園(2園)したため、在籍人員が減少。

資料：幼保連携推進室

● 児童手当支給状況

各年3月末現在

区 分 年 度	被 用 者		非 被 用 者		特 例 給 付		支給総額
	延支給児童数	支 給 額	延支給児童数	支 給 額	延支給児童数	支 給 額	
平成25年度	8,344 人	97,780,000 円	7,256 人	83,985,000 円	83 人	415,000 円	182,180,000 円
26年度	8,472	99,210,000	7,261	84,440,000	58	290,000	183,940,000
27年度	8,847	103,405,000	6,951	80,770,000	71	355,000	184,530,000
28年度	9,070	106,430,000	6,510	76,235,000	108	540,000	183,205,000
29年度	9,077	106,285,000	6,186	72,825,000	122	610,000	179,720,000
30年度	8,932	104,575,000	5,830	68,195,000	124	620,000	173,390,000
令和元年度	8,984	104,385,000	5,334	62,455,000	120	600,000	167,440,000

資料：福祉保健課

● 国民年金の利用状況

各年度末現在

区 分		年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
被保険者数(人)	第1号強制		2,202	2,056	1,924	1,790	1,707	1,608	1,543
	被保険者任意		32	37	34	29	26	24	25
	第3号被保険者		343	326	331	320	300	279	259
	総 数		2,577	2,419	2,289	2,139	2,033	1,911	1,827
拠出年金 受給権者数(人)	老齢・老齢基礎		2,320	2,355	2,445	2,521	2,602	2,884	2,951
	障害・障害基礎		302	301	304	317	332	266	247
	母子・遺族基礎		27	23	21	17	19	6	7
	寡 婦		0	2	1	1	1	1	1
	総 数		2,649	2,681	2,771	2,856	2,954	3,157	3,206
老齢福祉年金	年 額(円)		0	0	0	0	0	0	0
	受給権者数(人)		0	0	0	1	0	0	0

資料：国民年金事業統計表(年表)

●国民健康保険の運営状況（一般保険者分）

項目 年度	被 年 間 平 均 一 般 保 險 者 数	保険税額				繰入金(円)			負担金補助金	
		調定額 (円)	収納額 (円)	収納率 (%)	一人当り 調定額(円)	一般会計 繰入金	基金 繰入金	制度による 一般会計 繰入金	国 (円)	県 (円)
平成25年度	3,894	199,491,426	190,106,486	95.29	51,230	197,118,014	0	143,118,014	687,827,298	123,634,265
26年度	3,889	206,784,210	196,427,462	94.99	53,171	248,155,307	0	148,155,307	722,208,776	129,771,670
27年度	3,663	210,283,092	200,311,792	95.25	54,685	312,510,580	0	162,510,580	626,955,751	113,572,215
28年度	3,596	221,382,883	210,909,168	95.26	61,563	279,907,658	0	148,193,879	669,534,527	121,660,862
29年度	3,467	218,957,375	209,707,700	95.77	63,154	298,877,775	0	136,877,775	664,717,196	115,166,756
30年度	3,459	229,069,534	219,264,964	95.72	66,224	264,193,180	0	138,810,180	0	1,198,742,098
令和元年度	3,420	235,740,269	221,496,869	93.96	68,929	215,044,621	0	155,944,621	1,288,000	1,264,718,698

資料：福祉保健課

●国民健康保険給付状況（一般保険者分）

単位：円

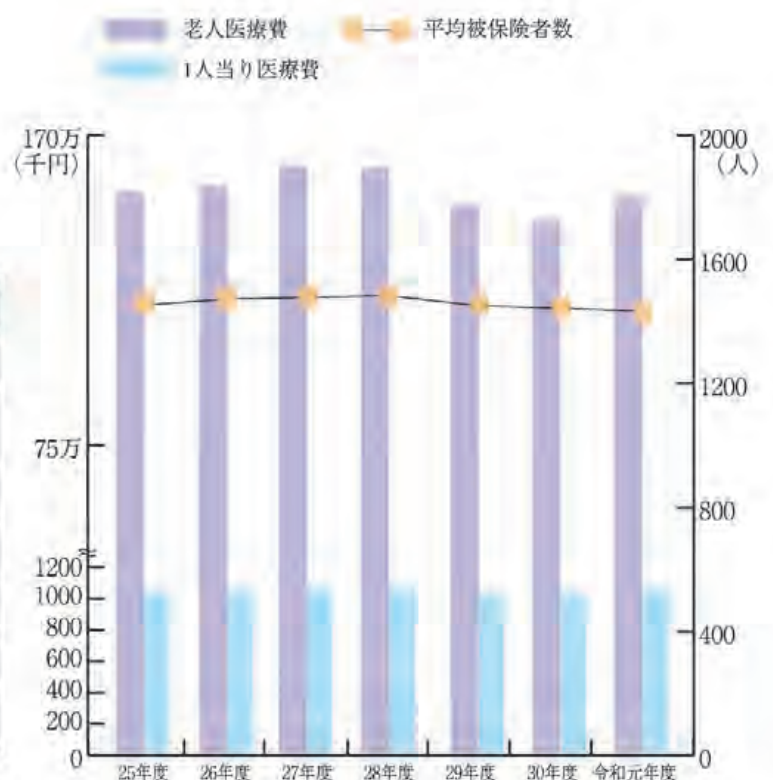
項目 年度	被 年 間 平 均 若 者 人 数	保険給付額（保険者負担額）										一 人 当 り 給 付 費 (円)	受 診 件 数	受 診 率 (%)
		給付総額		療養給付費		療養費		高額療養費		助産費	葬祭費			
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比							
平成25年度	3,894	1,025,906,418	0.92	826,343,671	0.93	5,829,083	1.99	128,015,065	0.85	9,244,620	320,000	263,458	42,667	10.95
26年度	3,889	1,091,837,840	1.06	877,420,568	1.06	2,323,958	0.40	142,769,064	1.12	13,020,000	380,000	280,750	42,818	11.01
27年度	3,663	1,028,015,798	0.94	842,842,991	0.96	2,958,846	1.27	141,293,698	0.99	8,803,261	300,000	280,648	42,840	11.69
28年度	3,596	1,111,721,899	1.08	919,838,481	1.09	3,055,357	1.03	165,089,259	1.17	10,960,960	460,000	309,155	44,223	12.29
29年度	3,467	1,086,539,380	0.98	899,326,039	0.98	2,833,870	0.93	160,328,411	0.97	8,807,990	180,000	313,394	42,645	12.30
30年度	3,459	1,111,431,334	1.02	932,943,989	1.04	2,571,543	0.91	165,101,665	1.03	7,242,610	100,000	321,316	43,897	12.69
令和元年度	3,420	1,194,064,847	1.07	991,098,370	1.06	2,060,733	0.80	186,491,317	1.13	10,787,706	240,000	349,142	44,682	13.06

資料：福祉保健課

●後期高齢者医療の推移

項目 年度	老人医療費(千円)	平均被保険者数(人)	1人当り医療費(千円)
平成25年度	1,542,654	1,459	1,057
26年度	1,563,284	1,474	1,060
27年度	1,614,546	1,481	1,090
28年度	1,609,707	1,483	1,085
29年度	1,511,106	1,459	1,035
30年度	1,477,775	1,446	1,022
令和元年度	1,529,726	1,434	1,066

資料：福祉保健課



資料：福祉保健課

保健衛生

●各種検診状況（40才以上）

（単位：人）

年度	項目	胸部レントゲン	特定健診 (国保40-74歳)	胃 検 診	子宮ガン検診	乳ガン検診	大腸ガン検診
平成25年度		831	1,035	233	155	132	661
26年度		1,020	1,044	288	193	156	749
27年度		1,115	1,096	255	187	182	729
28年度		946	1,093	122	199	187	664
29年度		989	1,058	201	151	155	669
30年度		968	994	246	318	228	698
令和元年度		901	1033	253	227	229	712

資料：地域保健・健康増進事業報告、法定報告

●母子・成人・結核予防事業

種別	事業内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
母子保健事業	衛生教育	離乳食実習	3回 29人	4回 49人	4回 71人	4回 43人	3回 88人	2回 36人	3回 61人
		ピアママ教室	2回 48人	2回 27人	2回 67人	3回 68人	4回 50人	2回 43人	3回 42人
	集団検診	乳児	151人	176人	159人	178人	147人	129人	152人
		1歳6ヵ月児	131人	78人	79人	88人	94人	70人	69人
3歳児		111人	75人	92人	87人	80人	83人	95人	
	菌科	95人	85人	113人	54人	83人	40人	40人	
健康推進事業	健康教室		105回 2,129人	65回 1,664人	58回 2,198人	42回 737人	24回 444人	39回 630人	38回 679人
	健康相談		42回 1,347人	42回 1,347人	38回 1,202人	210回 1,571人	85回 1,219人	84回 1,117人	36回 1,139人
	訪問活動		510人	528人	508人	431人	339人	484人	301人
国保	特定保健指導		1,214人	1,404人	1,557人	983人	765人	987人	920人
結核予防事業	乳幼児	B C G 接種	61人	80人	76人	86人	68人	66人	72人
母子保健推進員	訪 問		162件	87件	31件	1件	60件	9件	43件
	定 例 会		9回 63人	8回 59人	9回 91人	8回 53人	9回 60人	9回 34人	7回 47人

資料：福祉保健課

●ごみ収集状況

※平成18年度：資源物の分別開始・平成28年2月：家庭ごみの有料化開始

年度	可燃物 (t)		不燃物 (t)		資源物 (t)		合計 (t)	
	年間収集量	月平均収集量	年間収集量	月平均収集量	年間収集量	月平均収集量	年間収集量	月平均収集量
平成25年度	2555.78	212.98	57.54	4.8	183.43	15.29	2796.75	233.06
26年度	2705.58	225.47	62.47	5.21	163.07	13.59	2931.12	244.26
27年度	2693.81	224.48	67.7	5.64	169.95	14.16	2931.46	244.29
28年度	2562.79	213.57	55.56	4.63	205.95	17.16	2824.3	235.36
29年度	2680.98	223.42	60.71	5.06	202.2	16.85	2943.89	245.32
30年度	2691.28	448.52	49.35	4.11	203.44	16.95	2944.07	245.33
令和元年度	2754.85	229.57	62.31	5.19	204.29	17.02	3021.45	251.78

資料：住民課

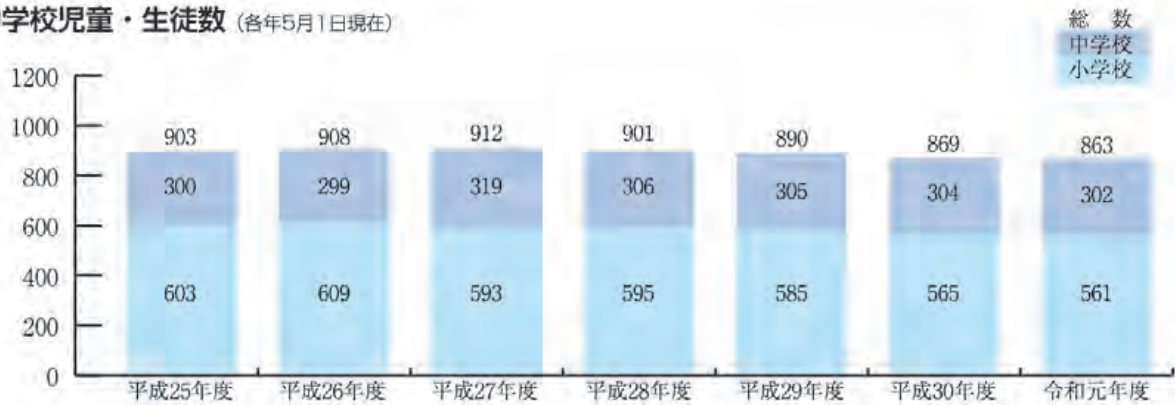
●し尿収集状況

年度	区 分	年 間 収集量 (kℓ)	月平均収集量 (kℓ)
平成25年度		4,103	342
26年度		4,217	351
27年度		4,145	345
28年度		4,460	372
29年度		4,440	370
30年度		4,408	367
令和元年度		4,508	376

資料：住民課

教育

●小中学校児童・生徒数 (各年5月1日現在)



資料：学校基本調査

●幼稚園園児数・教職員数

年次	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
園数	本園	3	3	3	3	3	1
	分園	0	0	0	0	0	0
組数	4	3	4	4	4	2	2
園児数	総数	93	87	87	99	88	37
	男	43	48	48	44	38	21
	女	50	39	39	55	50	16
年齢別園児数	5歳未満	0	0	0	0	0	0
	5歳以上	93	87	87	99	88	37
教員数	総数	4	3	4	4	4	3
	男	0	0	0	0	1	1
	女	4	3	4	4	3	2
職員数	総数	1	0	0	0	0	0
	男	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	0	0	0	0

資料：学校基本調査

●小学校・児童数・教職員数

年次	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
学校数	本校	3	3	3	3	3	3
	分校	0	0	0	0	0	0
学級数	25	26	25	29	29	30	30
児童数	総数	603	609	593	595	585	565
	男	286	287	290	285	287	277
	女	317	322	303	310	298	288
教員数	総数	42	43	40	42	45	52
	男	14	12	12	16	18	19
	女	28	31	28	26	27	33
職員数	総数	12	11	16	12	10	9
	男	2	1	1	1	2	2
	女	10	10	15	11	8	7

資料：学校基本調査

●中学校・生徒・教職員数

年次	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
学校数	本校	1	1	1	1	1	1
	分校	0	0	0	0	0	0
学級数	10	26	12	11	11	12	11
生徒数	総数	300	299	319	306	305	304
	男	168	168	162	154	143	153
	女	132	131	157	152	162	151
教員数	総数	23	24	27	24	24	27
	男	12	12	12	11	12	12
	女	11	12	15	13	12	15
職員数	総数	5	5	5	3	5	4
	男	0	0	0	0	0	1
	女	5	5	5	3	5	3

資料：学校基本調査

●北山高校・生徒・教職員数

年次	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
学級数	9	9	9	9	9	9	9
生徒数	総数	289	266	295	293	299	296
	男	147	142	171	169	171	158
	女	142	124	124	124	128	138
教員数	総数	31	28	28	29	30	34
	男	15	16	15	16	17	19
	女	16	12	13	13	13	15
職員数(教員以外の職員)	総数	9	7	8	8	8	12
	男	4	2	4	4	2	4
	女	5	5	4	4	6	8

資料：北山高等学校

文化財

●国指定文化財

名称	種別	指定年月日
今帰仁城跡附シイナ城跡	史跡	1972年5月15日
諸志御嶽の植物群落	天然記念物	1972年5月15日
アマミクヌムイ	名勝	2015年10月7日

●国選定文化財

名称	種別	指定年月日
今帰仁村今泊のフクギ屋敷林と集落景観	重要な文化的景観	2019年10月16日

●県指定文化財

名称	種別	指定年月日
今帰仁城跡	名勝	1955年1月25日
今帰仁城跡	有形文化財(建造物)	1962年6月7日
阿比理屋敷ノロの曲玉	有形文化財(工芸品)	1969年8月26日
山北今帰仁城監守来歴碑記	有形文化財(古文書)	2002年1月18日
湧川の路次楽	無形民俗文化財	2002年1月18日
謝名のアヤチ(操り)獅子	無形民俗文化財	2002年1月18日
今帰仁村仲原馬場	史跡	1959年6月1日
天底のシマチスジノリ	天然記念物	1955年1月25日
今泊のコバテイシ	天然記念物	1956年10月19日

●国指定天然記念物(動物)

名称	種別	指定年月日
オカヤドカリ	天然記念物	1970年11月12日
カラスバト	天然記念物	1971年5月19日
ジュゴン	天然記念物	1972年5月15日
リュウキュウヤマガメ	天然記念物	1975年6月26日

※所在地地域を定めず指定する

●国選択無形民族文化財

名称	種別	指定年月日
沖縄北部のウシガミ	風俗習慣	1992年2月25日
操り獅子(アヤチ)	民俗芸能	2004年2月6日

●村指定文化財

名称	種別	指定年月日
百按司墓	有形文化財(建造物)	1991年7月1日
大北墓		1991年7月1日
イチダスク(池城)墓	有形文化財(建造物)	1991年7月1日
古宇利トゥーミヤ(遠見台)	有形文化財(建造物)	1993年8月12日
仲村源正宛辞令書及び関係資料	有形文化財(建造物)	1993年8月12日
新城徳助・徳幸宛辞令書及び関係資料	有形文化財(古文書)	2003年1月20日
諸喜田福保宛辞令書及び関係資料	有形文化財(古文書)	2003年1月20日
国頭郡今帰仁副切各村全図及び字図	有形文化財(古文書)	2008年2月15日
今帰仁副切平敷村略図及び平敷村各字図	歴史資料	2008年2月15日
諸志の焚字炉	歴史資料	2008年2月15日
崎山の神ハサギ	有形民俗文化財	2008年2月15日
仲宗根垣畑原のナハキハギ群落	有形民俗文化財	2008年2月15日
今帰仁ノロの祭祀道具一式	天然記念物	2014年3月14日
中城ノロの祭祀道具一式	有形文化財(工芸品)	2014年3月14日
勢理客ノロの祭祀道具一式	有形文化財(工芸品)	2014年3月14日

●県指定天然記念物

名称	種別	指定年月日
フタオチョウ	天然記念物	1969年8月26日
コノハチョウ	天然記念物	1969年8月26日
イボイモリ	天然記念物	1978年11月9日
クロイワトカゲモドキ	天然記念物	1978年11月9日

※所在地地域を定めず指定する

選挙

●選挙人名簿定時登録者数の推移

各年9月1日現在

	平成26年			平成27年			平成28年			平成29年			平成30年			令和元年			令和2年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
合計	3,871	3,871	7,635	3,905	3,776	7,681	4,003	3,847	7,850	3,979	3,796	7,775	3,959	3,747	7,706	3,915	3,668	7,583	3,898	3,704	7,602

資料：選挙管理委員会

●各種選挙執行状況

執行年月日	選挙の種別	当日有権者数		
		男	女	計
平成26年 9月7日	今帰仁村議会議員選挙	3,837	3,726	7,563
11月16日	沖縄県知事選挙	3,862	3,745	7,607
12月14日	第47回衆議院議員総選挙	3,938	3,853	7,791
平成28年 6月5日	沖縄県議会選挙	3,884	3,727	7,611
7月10日	第24回参議院議員通常選挙	3,973	3,834	7,807
8月7日	今帰仁村長選挙並びに今帰仁村議会議員補欠選挙	3,954	3,803	7,757
平成29年 10月22日	第48回衆議院議員総選挙	3,966	3,784	7,750
平成30年 9月2日	今帰仁村議会議員選挙	3,921	3,712	7,633
平成30年 9月30日	沖縄県知事選挙	3,938	3,732	7,670
平成31年 4月21日	衆議院沖縄県第3区選出議員補欠選挙	4,027	3,810	7,837
令和元年 7月21日	第25回参議院議員通常選挙	4,011	3,785	7,796
令和2年 6月7日	沖縄県議会議員選挙	3,882	3,699	7,581
令和2年 8月9日	今帰仁村長選挙	3,870	3,674	7,544

資料：選挙管理委員会

財政

●会計別決算額の推移

(単位：千円)

年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度							
	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出						
一般会計	6,349,349	6,158,907	6,165,624	5,901,416	6,196,286	5,906,573	6,575,192	6,225,830						
特別会計														
国民健康保険	1,685,226	2,002,601	1,839,763	2,139,550	1,986,879	2,266,320	2,091,916	2,288,505						
水道	886,542	746,449	—	—	—	—	—	—						
後期高齢者医療	81,082	79,835	83,390	82,717	80,160	79,872	83,637	81,571						
公営企業会計														
水道事業	※水道事業については、平成26年度から地方公営企業法が適用された会計へ引継		営業損益 △205,603	営業外損益 123,821	特別損益 △2,100	当年度純損益 △83,882	営業損益 △214,303	営業外損益 133,429	特別損益 537	当年度純損益 △80,337	営業損益 △175,319	営業外損益 130,574	特別損益 0	当年度純損益 △44,745

年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度							
	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出						
一般会計	7,883,624	7,671,584	7,186,033	6,929,645	6,867,183	6,586,526						
特別会計												
国民健康保険	2,032,751	2,161,895	1,698,804	1,737,638	1,714,521	1,714,555						
水道	—	—	—	—	—	—						
後期高齢者医療	86,708	86,421	93,070	92,188	93,385	93,107						
公営企業会計												
水道事業	営業損益 △172,961	営業外損益 137,635	特別損益 0	当年度純損益 △35,326	営業損益 △155,334	営業外損益 124,492	特別損益 △23	当年度純損益 △30,865	営業損益 △152,733	営業外損益 138,110	特別損益 △2,779	当年度純損益 △17,402

資料：総務課

●財政力指数

(単位：千円)

区分	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
基準財政収入額		538,447	577,837	616,837	659,506	680,506	716,331
基準財政需要額		2,719,306	2,704,917	2,785,453	2,792,218	2,815,859	2,700,280
財政力指数		0.2	0.2	0.21	0.22	0.23	0.25
標準税収入額		685,746	735,250	769,092	827,338	852,908	898,253
標準財政規模		3,028,836	3,019,913	3,091,913	3,061,156	3,109,484	2,998,046
経常一般財源収入額		3,036,083	3,025,911	3,137,130	3,063,125	3,128,534	3,017,077
経常経費充当一般財源		2,510,283	2,382,862	2,272,791	2,286,322	2,488,188	2,766,123
経常収支比率		82.70%	78.70%	72.40%	74.50%	79.50%	91.68%
経常一般財源比率		100.20%	100.50%	101.40%	100%	100.60%	100.63%
実質収支比率		6.00%	8.50%	8.80%	9.70%	6.10%	7.70%
公債費比率		12.10%	11.50%	10.80%	10.00%	9.90%	9.50%
地方債現在高		3,407,316	3,295,943	3,153,750	3,103,813	3,084,514	3,023,786

資料：市町村行財政概況

●村税の推移（現年課税分、調定額）

(単位：円)

科目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
村民税							
個人	160,070,276	173,268,750	173,128,512	182,408,719	188,642,193	210,289,167	205,299,818
法人	16,706,900	17,312,100	21,883,200	22,653,700	25,238,900	26,765,500	30,140,100
固定資産税	284,270,700	312,971,100	309,884,000	323,252,800	349,220,100	359,811,200	388,486,200
固有資産等所在市町村交付金	559,000	553,200	545,700	457,300	452,900	446,700	420,000
軽自動車税	27,129,700	27,897,700	28,383,000	36,033,400	36,958,400	37,702,600	38,755,800
村たばこ税	63,286,310	60,734,763	60,772,416	59,945,491	56,387,640	55,009,989	56,773,277
特別土地保有税	—	—	—	—	—	—	—
合計	552,022,886	592,737,613	594,596,828	624,751,410	656,900,133	690,025,156	719,875,195

資料：住民課

財政

●年度別歳入決算（一般会計）

（単位：千円）

科目	区分	決算額						
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
自主財源	村税	554,060	597,284	597,700	628,974	656,373	687,044	709,632
	分担金及び負担金	110,791	80,396	89,336	70,743	51,487	87,773	43,019
	使用料及び手数料	43,801	39,675	52,579	58,919	58,176	55,800	47,653
	財産収入	14,018	22,097	33,654	33,605	34,434	423,394	76,331
	寄付金	30,412	34,848	185,329	167,208	237,555	155,894	265,994
	繰入金	237,063	192,879	203,087	292,220	355,395	349,524	578,119
	繰越金	170,165	190,442	264,207	289,713	349,362	212,040	256,388
	諸収入	210,153	239,593	219,410	235,311	318,378	278,036	225,045
依存財源	地方譲与税	47,387	45,058	47,038	46,472	46,224	46,589	47,205
	利子割交付金	1,038	831	698	408	499	405	250
	配当割交付金	738	1,232	1,402	669	1,016	671	893
	株式等譲渡所得割交付金	1,212	926	1,130	527	1,134	578	632
	ゴルフ場利用税交付金	17,163	13,932	14,825	14,757	15,646	15,193	13,978
	地方消費税交付金	59,266	74,184	139,535	125,293	135,240	148,906	143,140
	自動車取得税交付金	10,061	4,329	8,243	8,785	12,052	13,539	9,375
	地方特例交付金	1,354	1,816	2,150	2,661	2,990	3,558	19,769
	地方交付税	2,380,942	2,309,350	2,369,057	2,315,146	2,321,980	2,194,403	2,154,749
	交通安全対策特別交付金	1,168	2,072	2,307	1,132	1,187	1,194	1,096
	国庫支出金	743,253	577,520	647,850	733,774	1,594,689	713,568	766,492
	県支出金	1,358,249	1,382,177	1,043,124	1,186,214	1,284,689	1,456,680	1,188,843
	村債	357,054	354,983	273,625	362,661	405,118	341,244	318,580
合計	6,349,348	6,165,624	6,196,286	6,575,192	7,883,624	7,186,033	6,867,183	

資料：総務課

●年度別歳出決算（一般会計）

（単位：千円）

科目	区分	決算額						
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1. 議会費		74,761	74,139	76,990	70,214	70,088	71,200	72,173
2. 総務費		876,328	1,019,712	1,227,212	1,102,876	1,370,098	1,443,736	1,353,433
3. 民生費		1,519,977	1,634,444	1,713,162	1,915,057	2,440,123	2,546,124	2,253,960
4. 衛生費		470,251	330,796	350,017	357,662	338,081	364,738	550,712
5. 労働費		—	—	—	—	—	—	—
6. 農林水産業費		939,785	704,751	614,782	586,723	745,691	552,681	550,947
7. 商工費		282,404	202,010	247,340	193,727	232,127	147,614	206,407
8. 土木費		532,876	479,398	341,851	571,080	1,064,041	507,683	313,198
9. 消防費		183,402	185,297	185,639	186,985	182,039	186,117	192,146
10. 教育費		729,102	750,529	667,635	795,353	777,621	683,658	694,547
11. 災害復旧費		0	8,050	26,264	0	0	2,477	15,425
12. 公債費		550,020	512,290	455,681	446,153	451,675	423,617	383,578
13. 諸支出金		—	—	—	—	—	—	—
合計		6,158,906	5,901,416	5,906,573	6,225,830	7,671,584	6,929,645	6,586,526

資料：総務課

歴代の各団体長及び各種委員等

●歴代間切長・村長

代	年次	氏名	出身地
1	明治30年～明治42年	城間 半蔵	今帰仁
2	明治42年～大正5年	新垣源次郎	玉城
3	大正5年～大正13年	与那嶺蒲助	与那嶺
4	大正13年～昭和3年	仲宗根宗助	湧川
5	昭和3年～昭和8年	山城 善助	仲尾次
6	昭和8年～昭和12年	仲村豊七郎	勢理客
7	昭和12年～昭和16年	玉城幸五郎	今帰仁
8	昭和16年～昭和20年	島袋松次郎	与那嶺

●戦後歴代村長

代	年次	氏名	出身地
1	昭和20年～昭和25年	松本 吉英	謝名
2	昭和25年～昭和29年	大城 善英	仲宗根
3	昭和29年～昭和33年	与那嶺新蔵	仲尾次
4	昭和33年～昭和35年	大城 健一	仲宗根
5	昭和35年～昭和39年	金城 勘正	上運天
6	昭和39年～昭和43年	宮里 政安	仲宗根
7	昭和43年～昭和63年	松田 幸福	仲宗根
8	昭和63年～平成12年	上間 博安	崎山
9	平成12年～平成16年	仲里 吉徳	湧川
10	平成16年～平成28年	與那嶺幸人	崎山
11	平成28年～令和2年	喜屋武治樹	仲尾次
12	令和2年～現在	久田 浩也	天底

●歴代助役

代	年次	氏名	出身地
1	戦前の部任期等不明	平田 喜信	謝名
2		高良 森蒲	諸志
3		大城善次郎	謝名
4		与那嶺平清	諸志
5		島袋松次郎	与那嶺
6		金城 新松	上運天

●戦後歴代助役

代	年次	氏名	出身地
1	昭和20年～昭和23年	喜屋武甚彦	天底
2	昭和23年～昭和25年	石嶺 幸亨	平敷
3	昭和26年～昭和29年	与那嶺新蔵	仲尾次
4	昭和29年～昭和43年	糸数 昌徳	湧川
5	昭和43年～昭和59年	内間 敏	諸志
6	昭和59年～昭和63年	大城 秀昭	兼次
7	昭和63年～平成2年	伊集 一隆	平敷
8	平成2年～平成14年	大城 勝	平敷
9	平成14年～平成16年	小那覇安優	仲宗根
10	平成17年～平成19年	大嶺 英恭	越地

●歴代副村長

代	年次	氏名	出身地
1	平成17年～平成25年	大嶺 英恭	越地
2	平成25年～平成29年	大城 清紀	湧川
3	平成29年～平成31年	中原 茂仁	越地
4	平成31年～令和2年	謝花 良竹	渡喜仁
5	令和2年～現在	比嘉 克雄	玉城

●歴代収入役

代	年次	氏名	出身地
1	戦前の部任期等不明	幸地新太郎	勢理客
2		津波古充武	湧川

3	戦前の部任期等不明	仲松 弥盛	湧川
4		玉城精五郎	今帰仁
5		新垣源三郎	玉城

●戦後歴代収入役

代	年次	氏名	出身地
1	昭和21年～昭和23年	石嶺 幸亨	平敷
2	昭和23年～昭和29年	大城 健一	仲宗根
3	昭和29年～昭和33年	西島嘉太郎	与那嶺
4	昭和33年～昭和43年	宮里 政正	越地
5	昭和43年～昭和55年	上間 源蔵	今泊
6	昭和55年～平成5年	池原 善治	崎山
7	平成5年～平成12年	仲里 吉徳	湧川
8	平成12年～平成16年	仲尾次吉澄	今泊

●歴代村議会議長

代	年次	氏名	出身地
1	昭和23年～	松田 栄喜	運天
2	昭和25年～昭和29年	喜屋武甚彦	天底
3	昭和29年～昭和33年	座間味栄精	運天
4	昭和33年～昭和39年	宮里 政安	仲宗根
5	昭和39年～昭和41年	上間 仙信	諸志
6	昭和41年～昭和45年	與那嶺正吉	崎山
7	昭和45年～昭和49年	仲村 繁	勢理客
8	昭和49年～昭和53年	嘉陽 宗哲	湧川
9	昭和53年～昭和57年	嘉陽 宗哲	湧川
10	昭和57年～昭和61年	玉城 千喜	越地
11	昭和61年～平成2年	山城 辰雄	仲尾次
12	平成2年～平成6年	山城 正	兼次
13	平成6年～平成10年	與那嶺幸人	崎山
14	平成10年～平成14年	運天 政徹	運天
15	平成14年～平成18年	座間味栄立	上運天
16	平成18年～平成22年	喜屋武治樹	仲尾次
17	平成22年～平成26年	久田 浩也	天底
18	平成26年～平成30年	東恩納寛政	湧川
19	平成30年～現在	座間味 薫	玉城

●歴代村議会副議長

代	年次	氏名	出身地
1	昭和23年～	西平 栄喜	天底
2	昭和25年～昭和29年	仲宗根正秋	親泊
3	昭和29年～昭和33年	与那嶺正吉	崎山
4	昭和33年～昭和39年	仲尾次吉正	親泊
5	昭和39年～昭和41年	諸喜田幸福	勢理客
6	昭和41年～昭和45年	嘉陽 宗哲	湧川
7	昭和45年～昭和49年	上間 一男	与那嶺
8	昭和49年～昭和53年	山城 金長	玉城
9	昭和53年～昭和57年	山城 正	兼次
10	昭和57年～昭和61年	松本 光弘	仲宗根
11	昭和61年～平成2年	上里 朝栄	玉城
12	平成2年～平成6年	宮城 康吉	天底
13	平成6年～平成10年	嘉陽 宗敬	湧川
14	平成10年～平成14年	喜屋武治樹	仲尾次
15	平成14年～平成18年	東恩納寛政	湧川
16	平成18年～平成22年	與那嶺好和	仲宗根
17	平成22年～平成26年	内間 利三	諸志
18	平成26年～平成30年	與那嶺好和	仲宗根
19	平成30年～現在	上原 祐希	今泊

●歴代教育長

代	氏名	任期	出身地
1	与那嶺新蔵	昭和47年～昭和51年	仲尾次
2	上間 政春	昭和51年4月～昭和56年3月	今 泊
3	大城 勝三	昭和56年4月～平成元年3月	仲宗根
4	西島 一將	平成元年4月～平成9年3月	与那嶺
5	大城 藤夫	平成9年4月～平成13年3月	諸 志
6	山城 清光	平成13年4月～平成16年8月	与那嶺
7	田港 朝茂	平成17年4月～平成21年3月	謝 名
8	謝花 弘	平成21年7月～平成25年6月	渡喜仁
9	新城 敦	平成25年7月～平成29年6月	今 泊
10	玉城 奎	平成29年7月～現在	今 泊

●歴代教育委員長

代	氏名	任期	出身地
1	大城 善英	1952年～1954年	仲宗根
2	与那嶺新蔵	1954年～1958年	仲尾次
3	大城 健一	1958年～1960年	仲宗根
4	座間味栄精	1960年～1972年(昭和47年)	運 天
5	山城 清福	昭和47年～昭和52年3月31日	崎 山
6	仲宗根繁雄	昭和52年4月～昭和56年3月	湧 川
7	新城 繁雄	昭和56年4月～平成元年3月	今 泊
8	黒島 直太	平成元年4月～平成5年3月	仲宗根
9	与那嶺 猛	平成5年4月～平成9年3月	天 底
10	知念 孝俊	平成9年4月～平成11年4月	湧 川
11	金城 峯子	平成11年4月～平成16年3月	上運天
12	宮平 博旦	平成16年4月～平成17年3月	仲宗根
13	大城 淳稔	平成17年4月～平成22年3月	天 底
14	島袋 啓一	平成22年4月～平成25年3月	仲宗根
15	松田 泰	平成25年4月～平成29年6月	運 天

●歴代体協長

年 次	氏 名	出身地
昭和	与那嶺新蔵	仲尾次
昭和29年～昭和30年	比嘉 徳仁	謝 名
昭和31年～昭和32年	真栄田義永	勢理客
昭和33年～昭和34年	喜納 政明	天 底
任期等不明	吉田 光正	仲宗根
〃	岸本 本秀	呉我山
〃	金城 寛一	仲宗根
昭和43年～昭和61年	内間 敏	諸 志
昭和61年～昭和63年	大城 秀昭	兼 次
昭和63年～平成2年	伊集 一隆	平 敷
平成2年～平成14年	大城 勝	平 敷
平成14年～平成16年	小那覇安優	仲宗根
平成16年～現在	嘉陽 宗敬	湧 川

●歴代婦人会(女性の会)長

代	年 次	氏 名	出身地
1	昭和26年～昭和29年	上間 カズ	上運天
2	昭和29年～昭和32年	大城 喜代	天 底
3	昭和32年～昭和33年	幸地 ウタ	勢理客
4	昭和33年～昭和34年	田港 トシ	玉 城
5	昭和34年～昭和35年	大城 喜代	天 底
6	昭和35年～昭和52年	小浜 孝子	湧 川
7	昭和52年～昭和53年	上間 和子	仲宗根
8	昭和53年～昭和55年	平良 カエ	玉 城
9	昭和55年～昭和57年	小浜 孝子	湧 川

10	昭和57年～昭和59年	諸喜田スエ子	仲宗根
11	昭和59年～昭和63年	上地 文子	上運天
12	昭和63年～平成6年	大城 義子	謝 名
13	平成6年～平成10年	山内 晴子	仲尾次
14	平成10年～平成22年	我那覇トシ子	仲宗根
15	平成22年～平成26年	石野 裕子	今 泊
16	平成26年～平成30年	内間 好美	諸 志

●歴代農業委員会長

代	氏 名	年 次
1	仲村 繁	昭和47年10月19日～昭和48年11月3日
2	金城 寛一	昭和48年11月4日～昭和50年10月8日
3	山城 正	昭和50年10月9日～昭和53年10月6日
4	仲尾次政助	昭和53年10月7日～昭和56年9月30日
5	仲尾次政助	昭和56年10月1日～昭和59年9月30日
6	国吉 宗定	昭和59年10月1日～昭和62年9月30日
7	仲松 弥貞	昭和62年10月1日～平成5年9月30日
8	山城 義秀	平成5年10月1日～平成8年9月30日
9	内間 利三	平成8年10月1日～平成11年9月30日
10	諸喜田幸男	平成11年10月1日～平成14年9月30日
11	比嘉 峯夫	平成14年10月1日～平成17年9月30日
12	山城 直一	平成17年10月1日～平成20年9月30日
13	神山 康賢	平成20年10月1日～平成23年9月30日
14	米須 清和	平成23年10月1日～令和2年9月30日
15	内間 正樹	令和2年10月1日～現在

●歴代村老人クラブ連合会会長

代	氏 名	年 次	出身地
1	吉田 正徳	昭和37年～昭和45年	兼 次
2	喜屋武甚彦	昭和45年～昭和47年	天 底
3	仲松 弥興	昭和47年～昭和51年	湧 川
4	与那嶺福次郎	昭和51年～昭和55年	与那嶺
5	湧川 善雄	昭和55年～昭和60年	玉 城
6	宮里 政新	昭和60年～平成3年	越 地
7	諸喜田幸福	平成3年～平成7年	勢理客
8	座間味栄金	平成7年～平成10年	仲宗根
9	山内 昌雄	平成10年～平成16年	仲尾次
10	島袋輝志雄	平成16年～平成20年	諸 志
11	松田 吉永	平成20年～平成29年	天 底
12	照屋 昇	平成29年～現在	渡喜仁

●歴代青年会長

年 次	氏 名	出身地
昭和22年～昭和24年	喜納 政業	仲宗根
昭和24年～昭和26年	宮里 政徹	仲宗根
昭和26年～昭和27年	仲地 明福	玉 城
昭和27年～昭和28年	花城 清義	玉 城
昭和28年～昭和29年	座間味敏男	運 天
昭和29年	島袋 政春	与那嶺
昭和29年～昭和30年	与那嶺 勝	与那嶺
昭和30年～昭和32年	金城 秀雄	越 地
昭和32年～昭和33年	新城 春樹	今 泊
昭和33年～昭和34年	新城 堅一	玉 城
昭和34年～昭和35年	島袋 政春	与那嶺
昭和35年～昭和37年	津波古 勇	湧 川
昭和37年～昭和38年	座間味邦夫	運 天
昭和38年～昭和39年	我喜屋宗雄	湧 川
昭和40年～昭和41年	金城 隆盛	仲宗根

昭和41年～昭和42年	嘉数 昇	今 泊
昭和42年～昭和43年	仲尾次吉澄	今 泊
昭和43年～昭和44年	豊里 友剛	渡喜仁
昭和44年～昭和45年	仲里 吉徳	湧 川
昭和45年～昭和52年	諸喜田展生	勢理客
昭和52年～昭和57年	比嘉 正成	仲宗根
昭和57年～昭和60年	吉田 清尊	今 泊
昭和60年～平成2年	大城 隆徳	勢理客
平成2年～平成7年	城間 肇	今 泊
平成7年～平成10年	上間 宏明	今 泊
平成10年～平成11年	嶺井 潤	天 底
平成11年～平成14年	新城 孝博	天 底
平成14年～平成18年	比嘉 均	湧 川
平成19年～現 在	上間 哲朗	仲宗根

●歴代村商工会会長

代	氏 名	任 期
1	比嘉 公英	昭和48年6月4日～50年5月27日
2	宮里 政徹	昭和50年5月28日～52年5月27日
3	宮里 政典	昭和52年5月28日～54年5月27日
4	座間味栄金	昭和54年5月28日～60年3月31日
5	我喜屋 繁	昭和60年4月1日～63年9月30日
6	仲原 孝夫	昭和63年10月1日～平成6年5月30日
7	与那 森男	平成6年5月31日～9年5月30日
8	運天 政徹	平成9年5月31日～12年5月29日
9	宮城 康吉	平成12年5月30日～16年8月29日
10	座間味 薫	平成16年8月30日～24年4月30日
11	鳥袋 松男	平成24年5月1日～現 在

●歴代村漁協組合長

代	氏 名	任 期
1	金城 新行	不 明
2	運天 政発	不 明
3	松本 吉英	村長兼務
4	運天 政吉	昭和27年2月～昭和31年2月
5	運天 政竹	昭和31年3月～昭和36年3月
6	中村 喜文	昭和36年4月～昭和42年2月
7	運天 政秀	昭和42年3月～昭和45年8月
8	山川 功	昭和45年9月～昭和52年3月
9	新垣 正春	昭和52年4月～昭和54年5月
10	運天 政竹	昭和54年6月～昭和55年3月
11	沢峯 鉄英	昭和55年4月～昭和58年3月
12	喜納 一	昭和58年4月～昭和61年5月
13	平良 正男	昭和61年5月～平成4年7月
14	古宇利 重	平成4年7月～平成10年5月
15	上間 義昭	平成10年5月～平成13年9月
16	喜納 清憲	平成13年9月～平成16年8月
17	諸喜田 敦	平成16年8月～平成22年9月
18	平良 栄康	平成22年9月～平成27年3月
19	兼次 光正	平成27年4月～平成28年6月
20	與那嶺好和	平成28年7月～令和元年9月
21	喜納 直	令和元年9月～令和2年3月
22	玉城 啓時	令和2年3月～現 在

●歴代今帰仁郵便局長

代	氏 名	任 期
1	与那嶺豊太郎	明治16年
2	鳥袋 幸保	明治25年

3	糸数 昌厚	明治37年
4	長田松四郎	明治42年
5	長田 盛徳	昭和9年7月31日～29年3月23日
6	長田 節子	昭和29年5月8日～33年11月1日
7	友寄 隆徳	昭和33年11月1日～38年10月10日
8	喜納 政秀	昭和38年10月10日～40年8月16日
9	長田 節子	昭和40年8月16日～41年10月5日
10	原国 政礼	昭和41年10月5日～45年2月16日
11	長田 節子	昭和45年2月16日～48年6月30日
12	諸喜田峯夫	昭和48年7月1日～平成7年6月30日
13	親川 恵一	平成7年7月1日～平成18年6月30日
14	名嘉眞博文	平成18年7月1日～平成22年3月31日
15	安里 和史	平成22年4月1日～平成26年3月31日
16	安座間 剛	平成26年4月1日～平成27年1月19日
17	仲村 剛	平成27年1月19日～平成31年3月31日
18	崎山 栄勝	平成31年4月1日～現 在

●歴代郡島議員、立法院議員、県議会議員

代	年 次	氏 名	出身地	備 考
1	明治42年～大正14年	仲里金五郎	平 敷	県会議員
2	大正14年～昭和4年	湧川善太郎	玉 城	＊
3	昭和8年～昭和12年	仲宗根宗助	湧 川	＊
4	昭和12年～終 戦	宮里 喜一	今 泊	＊
5	昭和21年～昭和24年	幸地 新蔵	勢理客	沖縄議会議員
6	昭和25年～昭和27年	松本 吉英	謝 名	沖縄群島議会議員
7	昭和27年～昭和28年	幸地 新蔵	勢理客	立法院議員
8	昭和29年～昭和31年	長田 盛徳	仲宗根	＊
9	昭和31年～昭和33年	大城 善英	仲宗根	＊
10	昭和33年～昭和35年	喜納 政業	仲宗根	＊
11	昭和35年～昭和40年	大城 健一	仲宗根	＊
12	昭和37年～昭和41年	仲村 晁兆	運 天	＊
13	昭和41年～昭和63年	吉田 光正	仲宗根	昭和47. 5. 17立法院解散 沖縄県議会議員と全令
14	昭和59年～昭和63年	我喜屋宗重	玉 城	昭和59年6月10日選挙
15	昭和63年～平成12年	大城 秀昭	兼 次	昭和63年6月12日選挙

●村議会議員

職 名	氏 名
議 長	座間味 薫
副 議 長	上原 祐希
総務文教委員長	座間味邦昭
総務文教副委員長	與那嶺 透
委 員	山城 太
委 員	吉田 清尊
委 員	玉城みちよ
経済建設委員長	與儀 常次
経済建設副委員長	與那 勝治
委 員	鳥袋 誠
委 員	嘉陽 崇

●監査委員

委 員	氏 名
代表監査委員	吉田 克巳
議選委員	嘉陽 崇

●行政相談員

氏 名
小那覇安隆

※令和3年4月～

●人権擁護委員

氏名
大城美恵子
仲宗根順子
高田 智子

●固定資産評価審査委員

職名	氏名
委員	與那嶺敏秋
〃	仲宗根澄子
〃	玉城 義克

※令和3年4月～

●教育委員

職名	氏名
教育長	玉城 奎
委員	上地 太
〃	上間 敦子
〃	澤岷 圭子
〃	大城 覚

●教育相談員

氏名
金城 郁代
島野 由美

●農業委員

議席番号	氏名	議席番号	氏名
1	米須 清和	5	大城 司
2	平安山良也	6 中立委員	宮嶋扶喜子
3	與那嶺 清	7 会長	内間 正樹
4 職務代理	大竹 恭弘	8	仲宗根和盛

●農地利用最適化推進員委員

氏名	
上間 恒章	大兼久 明
大城 裕	嘉陽 宗真
鳥袋 宗安	大城 卓
上間 太樹	湧川 健太
松田 正康	眞栄田 昇
松田 康成	宮城あゆみ

●選挙管理委員

職名	氏名	職名	氏名
委員長	幸地 準治	委員	義元 得康
職務代理	山城 直一	〃	平良利津子

●明るい選挙推進委員

職名	氏名	職名	氏名
会長	上間 恒章	委員	上間 哲朗
委員	鳥袋 艶子	〃	上間 勲
〃	鳥袋 直哉	〃	平良 成健
〃	安里さゆり	〃	溝 多美夫

●民生児童委員

担当地区	氏名	担当地区	氏名
今 泊	新城 副子	玉城(東)	神元ゆみ子
兼 次	諸喜田雅子	呉 我 山	仲本 昭子
諸 志	中村 菊江	湧川(西)	名嘉山良英
与那嶺	日高 都子	湧川(東)	伊波 晶子
仲尾次	片岡 俊也	天底(西)	-
崎 山	上間トシ子	天底(東)	-
平 敷	宇茂佐ミサ子	勢 理 客	大城カズ子
越 地	上間 容子	渡 喜 仁	山本 芳枝
謝 名	諸喜田夏子	上 運 天	上原 芳枝
仲宗根(西)	平安愈美子	運 天	仲里 幸子
仲宗根(東)	-	古 宇 利	松田智恵子
玉城(西)	山城 幸子		

●主任民生児童委員

担当地区	氏名	担当地区	氏名
今帰仁(西)	玉城イチ子	今帰仁(東)	伊禮 正昭

●民生委員推薦会

職名	氏名	職名	氏名
委員長	伊禮 正昭	委員	松田 泰
委員	座間味邦昭	〃	宮里 晃
〃	謝花 恒明	〃	上間 恒章
〃	座間味美智枝		

●国民健康保険運営協議会委員

職名	氏名	職名	氏名
会長	与那嶺 誠	委員	根路銘弘美
委員	山田 重実	〃	石川 清和
〃	田港 朝弘	〃	山城 正登
〃	親川 秋雄	〃	金城 忍
〃	高田 智子		

●スポーツ推進委員

職名	専門種目	氏名	職名	専門種目	氏名
会長	テニス・チェクボール	嘉陽 宗敬	指導委員	バレーボール・ニュースポーツ	我那覇カヨ子
副会長	ソフトボール・ディスクゴルフ	上地 勝則	〃	〃	金城 正子
指導委員	バスケットボール・ニュースポーツ	比嘉 均	〃	ゴルフ・ニュースポーツ	金城 博貴
〃	バスケットボール・ニュースポーツ	渡具知良隆	〃	陸上・ディスクゴルフ	與那嶺 透
〃	陸上競技・ボウリング	鳥袋 誠	〃	野球・ニュースポーツ	松田祐一郎

●各字区長

字名	氏名	公民館住所	公民館電話
今泊	与那嶺 誠	今泊3116-2	4315
兼次	玉城 清一	兼次65	—
諸志	大城 豊昭	諸志130	3502
与那嶺	島袋 隆則	与那嶺119	4252
仲尾次	田場 盛喜	仲尾次1	2449
崎山	上間 聰	崎山1	4241
平敷	當山 清巳	平敷21-2	4695
越地	松田 朝雄	越地327	3493
謝名	玉城 政隆	謝名100	4927
仲宗根	島袋 健	仲宗根224	2320
玉城	仲松 昇	玉城612	4906
呉我山	新里 幸信	呉我山155-2	5060
湧川	山田 重実	湧川378	2925
天底	田港 朝弘	天底548	3996
勢理客	松田 守雄	勢理客1	4283
渡喜仁	謝花 喜洋	渡喜仁1	2218
上運天	上原 保	上運天438	4281
運天	高田 智子	運天882-1	4244
古宇利	喜納 直	古宇利323-1	4909

●文化財保存調査委員

職名	氏名	職名	氏名
議長	仲原 弘哲	委員	野中 智恵
委員	卯田 卓矢	◇	玉城 亜紀
◇	宮城 弘樹		

●公民館運営審議委員

職名	氏名	職名	氏名
会長	與那 栄子	委員	屋良 篤
委員	諸喜田スエ子	◇	我喜屋竜一
◇	高田 智子		

●社会教育委員

職名	氏名	職名	氏名
会長	與那 栄子	委員	濱川 栄優
委員	諸喜田スエ子	◇	我喜屋竜一
◇	高田 智子		

●歴史文化センター運営協議会

氏名	
上間 恒章	岩井 広子
石野 裕子	上原 博和
玉城菜美路	

◆ 村政功労者 ◆

●1981(昭和56)年3月19日 表彰

No.	氏名	功績内容
1	糸数 昌徳	助役14年3カ月
2	上間 源蔵	収入役12年
3	上間 仙信	村議会議員8年、議長2年1カ月、副議長1年11カ月
4	仲村 繁	村議会議員4年、議長8年
5	山城 金長	村議会議員12年、副議長4年
6	比嘉 才三	村議会議員12年
7	高山 朝友	村議会議員12年
8	運天 政一	村議会議員12年
9	与那嶺福次郎	村議会議員8年、教育委員4年、農協長9年9カ月
10	山城 清福	教育委員6年、選挙管理委員8年
11	渡名喜長栄	教育委員6年、選挙管理委員8年
12	知念 孝蔵	選挙管理委員18年9カ月
13	比嘉 徳仁	学校長15年2カ月
14	上間 信夫	学校長8年3カ月
15	島袋 喜厚	学校長15年9カ月
16	与儀 銀一	学校長10年
17	玉城 精喜	学校長12年4カ月
18	島袋 松人	農協長12年11カ月
19	与那嶺新蔵	村長4年、助役3年1カ月、教育長3年
20	宮里 政正	収入役10年3カ月
21	大城 清俊	役場職員28年3カ月
22	松本 吉英	村長4年5カ月
23	大城 健一	村長2年、収入役6年1カ月
24	宮里 政安	村長4年、村議会議員10年、議長5年10カ月
25	金城 勸正	村長3年7カ月、村議会議員4年、教育委員4年5カ月
26	座間味栄精	村議会議員4年、議長4年、教育委員4年
27	与那嶺正吉	村議会議員4年、議長4年、教育委員16年
28	新垣 正春	村議会議員12年
29	西平 守朝	村議会議員12年
30	喜納 政明	学校長8年
31	真栄田義永	学校長17年4ヶ月
32	新城 力	学校長10年
33	玉城 清勇	学校長8年6カ月

●1983(昭和58)年10月22日 表彰

No.	氏名	功績内容
34	嘉陽 宗哲	村議会議員17年6カ月、議長8年
35	嘉数 安喜	村議会議員16年
36	宮城 新喜	教育委員9年、民生委員6年11カ月
37	小那瀬安清	役場職員33年11カ月
38	志良堂清次郎	学校長10年
39	大城 静雄	学校長12年6カ月
40	山内 昌敬	学校長8年
41	嘉手納秀一	民生委員10年、農業委員6年
42	大井川前科医院 神元 ハツ	親子2代で24年10カ月
43	神元 繁一	親子2代で24年10カ月
44	屋嘉部景栄	教育振興に尽力
45	照屋 恒子	民生委員9年11カ月

●1986(昭和61)年12月4日 表彰

No.	氏名	功績内容
46	玉城 千喜	村議会議員16年、議長4年
47	川上 正一	村議会議員20年、監査委員14年
48	喜納 智	村議会議員20年
49	親川 秋男	村議会議員16年
50	謝花 喜祐	村議会議員16年
51	佐久川忠英	村議会議員12年
52	島袋 順章	村議会議員12年
53	渡久山祐弘	村議会議員12年
54	大城 幸輝	村議会議員12年
55	内間 敏	助役16年
56	高良 文雄	役場課長他33年
57	新城 俊雄	選挙管理委員26年、うち委員長16年
58	立津 政永	村議会議員4年、選挙管理委員26年
59	金城 寛一	農業委員10年、うち会長2年
60	西平 守儀	村議会議員8年、農業委員12年
61	仲里 正吉	村議会議員4年、民生児童委員15年
62	玉城 鎮夫	村議会議員1年6カ月、民生児童委員15年
63	西平 守榮	学校医28年、地域医療の充実

●1990(平成2)年2月7日 表彰

No.	氏名	功績内容
64	松田 幸福	村長5期20年、役場職員他22年
65	吉田 光正	立法院議員、県議会議員で22年
66	大嶺 武治	農業協同組合長15年
67	西島 光男	役場職員33年、うち課長25年
68	仲里 昭一	役場職員23年、うち課長5年
69	小浜 孝子	村婦人会長15年、民生委員15年他
70	上間 カズ	民生児童委員9年、人権擁護委員18年
71	島袋 辰巳	民生児童委員15年
72	吉田 郁子	助産婦44年、母子保健推進委員4年

●1993(平成5)年2月5日 表彰

No.	氏名	功績内容
73	山城 辰雄	村議会議員24年4カ月、うち議長4年
74	上里 朝栄	村議会議員12年、うち副議長4年
75	新城 元一	村議会議員12年
76	仲宗根繁雄	教育委員18年
77	上間 政春	教育長5年、民生児童委員9年
78	新城 繁雄	兼次小学校校長5年、教育委員長8年
79	上間 精光	選挙管理委員12年、うち委員長4年
80	池原 善治	収入役12年、役場課長14年
81	伊集 一隆	助役2年、役場職員25年、うち課長10年
82	金城 吉信	役場職員27年、うち課長2年
83	嘉陽 重芳	役場職員38年、うち課長9年
84	玉城喜久雄	役場職員29年、うち課長1年
85	伊是名ツル	民生児童委員15年
86	玉城 助一	民生児童委員19年
87	嘉陽 宗栄	民生児童委員19年
88	嘉手納典一	今帰仁村創道教室開設以来16年にわたり青少年を指導
89	仲原 武一	今帰仁村創道教室開設以来16年にわたり青少年を指導

●1995(平成7)年2月20日 表彰

No.	氏名	功績内容
90	山内 昌藤	文化財保存調査委員15年、歴史文化センター設立審議委員9年、他
91	黒鳥 直太	古字新小中学校長3年、村教育委員4年、村民意識醸成委員1年、他
92	島田 清仁	農業委員9年、議員8年
93	嘉陽 宗一	議員12年
94	松本 光弘	議員14年、うち副議長4年
95	沢岷 安博	議員12年、経済工務委員長4年
96	山川 功	教育委員12年
97	仲尾次政助	農業委員15年、うち農業委員長6年
98	仲松 彌貞	農業委員12年、うち農業委員長6年
99	田場 盛松	農業委員12年、うち農業委員長代理3年、民生委員3年
100	玉城 啓正	村役場職員42年、うち課長26年
101	新垣 侃	村役場職員29年、うち課長12年
102	小波津次郎	村役場職員29年、うち課長4年

●1999(平成11)年2月18日 表彰

No.	氏名	功績内容
103	西島 一將	教育長8年、教育委員会課長4年
104	宮城 康吉	村議会議員3期12年、うち副議長4年
105	湧川 登	農業委員5期15年
106	長浜富美子	民生児童委員15年
107	嘉陽 宗平	民生児童委員15年
108	嘉陽 富子	民生児童委員12年
109	上間 正雄	役場職員33年8カ月、うち課長12年2カ月
110	玉城 眞光	役場職員32年9カ月、うち課長4年
111	渡嘉敷広栄	役場職員32年5カ月、うち課長16年11カ月
112	新垣 俊春	役場職員25年
113	西平 貞子	役場職員25年9カ月

●1999(平成11)年11月5日 表彰

No.	氏名	功績内容
114	山内 昌雄	学校長2年、社会教育指導員1年、県ネットー審議会副会長、会長12年
115	玉城 善達	選挙管理委員13年1ヶ月、うち委員長8年
116	真栄田義男	選挙管理委員12年、うち委員長4年
117	嘉陽 宗武	選挙管理委員13年1ヶ月、うち委員長8年
118	内間 利三	農業委員12年、うち会長4年
119	新城 堅一	役場職員38年9ヶ月、うち課長1年

●2002(平成14)年12月4日 表彰

No.	氏名	功績内容
120	上間 博安	村長12年
121	大城 勝	助役12年
122	與那嶺幸人	村議会議員18年、うち議長4年、農業委員6年
123	運天 政徹	村議会議員16年、うち議長4年
124	島袋輝志雄	村議会議員24年、監査委員3年4月
125	照屋 晃	村議会議員16年
126	與那嶺吉正	村議会議員16年
127	新城 安昌	村議会議員12年
128	小波津 忍	村議会議員12年
129	国吉 宗定	村議会議員12年、農業委員9年
130	坪井 清足	今帰仁城跡調査研究整備委員会委員長 23年
131	名嘉正八郎	今帰仁城跡調査研究整備委員18年
132	金城 新治	民生委員3年、選挙管理委員12年
133	玉城 清	農業委員9年、選挙管理委員4年

134	山城 義秀	農業委員12年、うち会長 3年
135	諸喜田哲男	農業委員12年
136	大木 正信	固定資産評価審査委員16年
137	神谷 繁和	農業委員3年、民生委員9年
138	金城 弘定	農業委員12年
139	名城 敏子	役場職員25年、民生委員9年
140	玉木ナエ子	役場職員25年、民生委員4.5年
141	玉城 修	役場職員38年、民生委員3年

●2008(平成20)年11月30日 表彰

142	山城 正	村議会議員10期40年(うち議長1期4年)
143	座間味栄立	村議会議員5期18年(うち議長1期4年)
144	大城 幸治	村議会議員4期14年
145	與那嶺清治	村議会議員3期12年
146	新城 元	村議会議員3期12年、人権擁護委員4年
147	宮城 博政	村議会議員3期12年
148	玉城 博也	農業委員4期12年
149	比嘉 盛一	人権擁護委員15年5カ月
150	玉城 吉信	村議会議員4年、村役場職員・課長36年
151	金城 峯子	教育委員8年、民委12年
152	諸喜田スエ子	教育委員4年、人権擁護委員14年、社会教育指導員17年
153	謝花 勝子	社会教育委員10年、人権擁護委員10年
154	玉城 崇男	元村顧問弁護士15年8カ月
155	大城 秀昭	県議会議員3期12年、助役3年2カ月
156	仲里 吉徳	村長1期4年、収入役2期7年、役場職員32年
157	玉城 徳助	県認定指導農業士
158	三輪 茂徳	元子ども会育成会長

●2008(平成20)年11月30日 団体表彰

No.	氏名	功績内容
159	関西今帰仁村人会	団体表彰
160	今帰仁郷友会	〃

●2016(平成28)年2月24日 表彰

No.	氏名	功績内容
161	喜屋武治樹	村議会議員28年、うち議長4年、監査委員4年
162	嘉陽 宗敬	村議会議員24年
163	玉城 克義	村議会議員16年、うち監査委員4年
164	米須 春治	村議会議員12年
165	内間 利三	村議会議員12年、うち監査委員4年
166	三輪 昌子	民生委員12年
167	伊是名和子	選挙管理委員12年
168	大城 藤夫	教育委員教育長4年、選挙管理委員委員長8年
169	與那嶺 勝	今帰仁村農業協同組合長3年、今帰仁村土地改良理事10年、うち理事長7年
170	大城 茂樹	教育委員会指導主事3年、今帰仁中学校教頭2年、兼次小学校校長2年、今帰仁中学校校長3年
171	大城 淳稔	教育委員会指導主事2年、天底小学校校長2年、教育委員8年、うち委員長4年
172	上間 久武	兼次小学校校長3年、社会教育委員2年、民生委員児童委員3年、文化協会琉球古典音楽部会長4年
173	謝花 弘	村立中学校統合推進委員長2年、村文化協会会長6年、教育長4年

●2018(平成30)年10月26日 表彰

No.	氏名	功績内容
174	上間 敏雄	社会福祉協議会理事20年(うち会長18年)
175	内間美佐子	民生委員児童委員15年
176	島袋 和子	民生委員児童委員12年

◆ 村教育功労者 ◆

●1994(平成6)年11月3日 表彰

No.	氏名	功績内容
1	山内 昌彦	村文化財保存調査委員、村歴史文化センター設立審議委員会委員長、他
2	山内 昌雄	今帰仁村立兼次中学校校長、沖縄県ホッケー協会会長、他
3	黒鳥 直太	古宇利小中学校校長、村教育委員長、村民憲章制定委員会委員長
4	三輪 茂穂	村こども連絡協議会会長、村「ふれあい少年の翼」実行委員長、他
5	安座間安史	今帰仁村における集約の生息調査、その「その」今帰仁村文化財調査委員、他

●1999(平成11)年11月5日 表彰

No.	氏名	功績内容
6	與那嶺 猛	教育委員会委員長、兼次小学校校長
7	座間味敏男	社会教育委員、今帰仁中学校校長
8	知念 孝俊	教育委員会委員長
9	大城 學	体育指導委員
10	親川 繁	歴史資料館設立審議委員、歴史文化センター運営協議委員
11	村上 仁賢	文化財保存調査委員、今帰仁城跡調査研究整備委員
12	島袋 政春	今帰仁村立中学校統合調査研究委員長、涌川小中学校校長
13	名城 政健	社会教育委員、公民館運営審議委員

村内公共施設等 海拔表示一覧表

施設名	海拔(M)	施設名	海拔(M)
地域活動拠点活性化施設(今泊)	4.0	古宇利農村環境改善サブセンター	2.4
兼次構造改善センター	17.7	今帰仁保育所	4.1
諸志公民館	13.1	村社会福祉協議会	4.1
与那嶺構造改善センター	10.6	兼次小学校	12.2
仲尾次農村構造改善センター	12.6	今帰仁小学校	21.9
崎山公民館	17.9	天底小学校	54.7
平敷公民館	22.3	湧川小中学校跡	36.6
越地公民館	21.6	古宇利小学校跡	47.9
謝名女性・若手等活動促進施設	24.0	村中央公民館	8.2
仲宗根公民館	10.8	今帰仁中学校	15.8
地域活動拠点活性化施設(玉城)	23.4	県立北山高等学校	24.5
呉我山女性若者等活動促進施設	51.0	村総合運動公園	35.1
湧川集落センター	23.0	今帰仁村役場	8.6
天底公民館	57.1	本今消防今帰仁分遣所	21.1
勢理客公民館	27.1	今帰仁交番	3.0
渡喜仁地域総合施設	28.2	運天駐在所	3.8
地域活動拠点活性化施設(上運天)	11.5	今帰仁の駅そ〜れ	10.6
運天構造改善センター	28.3	今帰仁村グスク交流センター	81.8

公共施設

施設名	住所・電話(0980)	施設名	住所・電話(0980)
村役場	今帰仁村字仲宗根219 ☎56-2101(代表)	古宇利農村環境改善サプセンター	☎字古宇利323-1 ☎56-4909
村議会事務局	今帰仁村字仲宗根219 ☎56-4397	今帰仁診療所	☎字謝名139 ☎56-3581
村教育委員会	今帰仁村字仲宗根232 ☎56-2645	認定こども園みらい子育て支援センターきらきら	☎字越地180 ☎51-1181
村民プール	☎字仲宗根851-1 ☎56-2804	今帰仁保育所	☎字天底91 ☎56-2103
今帰仁村民体育館	☎字仲宗根851-1 ☎56-5955	社会福祉法人温和会まほろば保育園	☎字今泊3933-9 ☎56-5975
グスタ交流センター	☎字今泊5101 ☎56-4400	社会福祉法人なちじんむいあめそこ保育園	☎字天底420-7 ☎43-5804
歴史文化センター	☎字今泊5110 ☎56-5767	兼次小学校	☎字今泊3933 ☎56-2548
学校給食センター	☎字謝名574 ☎56-210	今帰仁小学校	☎字越地207 ☎56-2407
今帰仁村保健センター	☎字玉城163-2 ☎56-1234	今帰仁中学校	☎字仲宗根417 ☎51-5666
運天港港湾管理事務所	☎字上運天335-2 ☎56-2107	天底小学校	☎字天底420 ☎56-2405
地域活動拠点活性化施設(今泊)	☎字今泊3117 ☎56-4315	県立北山高等学校	☎字仲尾次540-1 ☎56-2401
兼次構造改善センター	☎字兼次65 ☎56-5762	本部町今帰仁村消防組合今帰仁分遣所	☎字謝名614 ☎56-2151
諸志公民館	☎字諸志130 ☎56-3502	本部町清掃施設組合今帰仁村	本部町字北里202 ☎48-3171
与那嶺構造改善センター	☎字与那嶺119 ☎56-4252	沖縄県農業協同組合今帰仁支店	今帰仁村字謝名35 ☎56-2201(代表)
仲尾次農村構造改善センター	☎字仲尾次1 ☎56-2449	村家畜セリ市場	☎字仲宗根259 ☎56-3457
崎山公民館	☎字崎山1 ☎56-4241	今帰仁漁業協同組合	☎字運天962-4 ☎56-2226
平敷公民館	☎字平敷21-2 ☎56-4695	村商工会	☎字仲宗根99-3 ☎56-4474
越地公民館	☎字越地327 ☎56-3493	沖縄畜産研究センター	☎字諸志2009-5 ☎56-5142
謝名女性・若者等活動促進施設	☎字謝名100 ☎56-4927	今帰仁郵便局	☎字仲宗根96-5 ☎56-2457
仲宗根公民館	☎字仲宗根224 ☎56-2320	本部警察署今帰仁交番	☎字仲宗根202 ☎56-2303
地域活動拠点活性化施設(玉城)	☎字玉城612 ☎56-4906	本部警察署運天警察官駐在所	☎字上運天303-1 ☎56-2816
具我山女性・若者等活動促進施設	☎字具我山155-2 ☎56-5060	今帰仁の駅そ〜れ	☎字玉城157 ☎56-4940
湧川集落センター	☎字湧川378 ☎56-2925	村観光協会	☎字仲宗根230-2 ☎56-1057
天底公民館	☎字天底548 ☎56-3996	橋の駅リカリカワルミ	☎字天底1124-5 ☎56-1223
勢理客公民館	☎字勢理客1 ☎56-4283	古宇利ふれあい広場	☎字古宇利323-1 ☎56-5574
渡喜仁地域総合施設	☎字渡喜仁1 ☎56-2218	村コミュニティセンター	☎字仲宗根230-2 ☎56-1112
地域活動拠点活性化施設(上運天)	☎字上運天438 ☎56-4281	村社会福祉協議会	☎字天底62 ☎56-4742
運天構造改善センター	☎字運天882-1 ☎56-4244		



発行／今帰仁村役場総務課

〒905-0492 沖縄県国頭郡今帰仁村字仲宗根219番地
電話(0980)56-2101(代表)

2021年3月現在